京城日報
五日夕刊

◎大總統就任式未決

馮氏は參議院成立を俟つ

馮國璋氏の大總統就任につきて段總理は各省に通電を發し即時就任式を擧げんとし馮氏は參議院の成立を俟たんとし其他閣員間にも種々議論ありて未だ決せず（北京特電）

◎宣戰案の手續結了す

支那對獨宣戰案に關する國務會議は三日間に亙り議事繼續し四日を以て漸く一切の手續を了せり（北京電報）

◎馮、段兩氏の密議

總統馮國璋氏は本月三日段總理を訪問し長時間に亙り密議する所ありたり其の內容は知るを得ざるも北京政界は馮、段兩氏の接近を歡迎しつゝあり（北京電報）

◎支那の宣戰は自發的

聯合國側參加如何

支那の對獨墺宣戰は支那が單獨にて爲すものにして聯合國に參加するものに非ず然れども借款交涉の進行と共に參加すべき豫定の行動也又政府は無條件宣戰にして支那の自發的行動なりと辯明せり（北京特電）

◎結局張勳引渡しか

獨墺宣戰と共に政府は和蘭公使に對し張勳氏引渡しを要求すべく同公使も結局之を承諾して引渡すならんと信ぜらる（北京特電）

◎在支獨人保護協議

支那の對獨墺宣戰切迫し和蘭公使は獨逸人有力者と宣戰後の生命財產保護に就き密議せるが上海駐在獨總領事クニピン氏天津獨軍司令官ハンネツケン氏北京德華銀行長コルテス氏外四名を和蘭領事館に送り其他の獨人は警察に保護を依賴すべく決したり（北京特電）

◎佛國海軍大臣辭職

佛國海軍大臣ラカーゼ提督は辭職せり（巴里電報）

◎アロ兩州回復決議

佛國下院に於ては大多數を以てアルサス、ローレンの回復及之に對する損害賠償を獨逸に要求する事を決議せり（巴里電報）

◎中歐同盟國意見交換

中歐同盟諸國は墺國が近く平和に關し具體的宣言を爲すの意あるに依り重要なる意見を交換しつゝあり（紐育電報）

◎白井中將通過

旅順要塞司令官陸軍中將白井二郎氏は五日午後七時釜山着八時半出港の新羅丸にて東上の途に就くべし（釜山特電）

◎國澤理事長動靜

五日國澤滿鐵理事長木浦に來着し五日夜重なる官民を東雲樓に招待して披露宴を開きたり六日朝釜山に向け出發の豫定なり（木浦特電）

◎土居氏持直す

有馬溫泉にて靜養中危篤に陷れる土居通夫氏は其後容態稍々良好に向へり（大阪特電）

◎村田鑛務課長

農商工部鑛務課長村田素一郎氏は五日朝入港の新羅丸にて釜山に上陸、十時半發の列車にて京城へ向へり（釜山特電）

◎內田大使夫人

內田駐露大使夫人の一行は五日午後七時釜山着、八時半出港の新羅丸にて鄕里大和へ向ふ筈（釜山特電）

◎外交調查近況

外交調查會協議の內容は絕對的秘密にして各委員共に深く其漏洩を戒め居れるが同會と最も深き關係を有する某消息通の言に據れば近時議する處は主に對支問題なるが支那の政情變轉走馬燈の如くにして何時亦如何なる變換あるや圖る可からず現下北洋派の段祺瑞氏長江筋の馮國璋氏及び廣東集合の一派鼎立して相睥睨するの狀態に在れば此際帝國としては暫時傍觀の態度を取るに決せるものゝ如し而して外間には會議中常に議論沸騰するが如く晦せらるゝも這は全然嘘にて實際は各委員共熱心に意見を吐露しつゝありと（東京）

◎戰時利得稅如何

時局のため莫大の利益を收めつゝある者のために戰時利得稅を課すべしとの說は特別議會にも多く質問を見たる所なるが政府は初めより外國の例に習ひ特別稅附課の心なきにあらざりしも何分日本は聯合與國とは云へ事實上に於ては中立國に等しき總ての狀態なるを以て財政上に於ても特別稅を泡すまでに窮迫を感じ居らざるなり從つて今回課稅する以上は寧ろ理論上若くは社會政策上の意味合より必要と感ずる次第なれば現在調査を進めつゝある利得稅は要するに英佛等の如き巨額の附課を見る事なく從つて財政上之れが爲めに大なる資源を得ると云ふ譯にも非ずと當局の一人は語れり（東京特信）

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾五錢 郵稅一ヶ月金十五錢 前金三ヶ月分 六ヶ月分 郵券代用二割增
廣告料 ▲五號活字十六字詰壹行金拾錢 ▲二號活字八字詰壹行金壹圓 ▲三號活字同上 ▲四號活字二十一字詰壹行金八拾錢
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
京城太平通一丁目 發行所 合資會社 京城日報社
電話番號 編輯局一四番 營業局二二番 工場用二六番 振替貯金口座京城三〇〇番

◎準尉採用人員

準尉新設勅令は二日の官報を以て公布されたるが六年度各兵科に於ける採用人員左の如し（東京特信）

▲近衞師團 步兵九騎兵三野山砲兵四工兵六計二十二名
▲第一師團 步兵九騎兵三野砲兵七重砲兵二工兵一計二十二名
▲第二師團 步兵八騎兵一野山砲兵二計十一名
▲第三師團 步兵九野山砲兵一計十名
▲第四師團 步兵八野山砲兵一重砲兵一工兵一計十一名
▲第五師團 步兵九騎兵一野山砲一重砲兵二計十三名
▲第六師團 步兵九騎兵一砲兵一工兵一計十二名
▲第七師團 步兵九野砲兵一計十名
▲第八師團 步兵九騎兵三野砲兵一工兵一輜重兵一計十五名
▲第九師團 步兵十一野砲兵一工兵一計十三名
▲第十師團 步兵九野砲兵一計十名
▲第十一師團 步兵九野砲兵一計十名
▲第十二師團 步兵十二騎兵一野砲兵一重砲兵三工兵一輜重兵一計十九名
▲第十三師團 步兵九騎兵一野砲兵一重砲兵一計十二名
▲第十四師團 步兵九野砲兵一工兵一計十一名
▲第十五師團 步兵九騎兵三野砲兵一工兵一輜重兵一計十五名
▲第十六師團 步兵九騎兵一野砲兵一工兵一輜重兵一計十三名
▲第十七師團 步兵九野砲兵二工兵一輜重兵一計十三名
▲第十八師團 步兵九騎兵一野砲兵二重砲兵一計十三名
▲第十九師團 步兵十一騎兵一重砲兵一計十三名
▲朝鮮 步兵五重砲兵一計六名
▲臺灣 步兵三重砲兵一計四名
▲關東州 步兵三重砲兵一計四名
▲教育總監部 步兵二野砲兵一計三名

◎馮麟閣監視

北京に拘留中なりし馮麟閣氏は各方面より種々なる運動を試みたる結果愈々保釋されたるも本日迄未だ其廣寧に歸著したるや否や確報に接せず張勳擧中の二十八師は馮氏の歸廣と共に如何なる態度を取るや保し難きを以て張督軍は二十九師をして彰武法庫門兩縣境を嚴守せしめ又遼陽の步兵二箇營に對し錦州方面に出動を命じ二十八師の行動を監視せしむることゝせり（奉天）

◎朝鮮黑鉛前途

產出內地の需要を超過せん

內地に於ける朝鮮黑鉛の需用狀況調査のため旅行中なりし新安州黑鉛鑛業家福井武二郎氏の談によれば此の一兩月鱗狀黑鉛の價格は稍や下落し一噸四百圓乃至四百五十圓を唱ふるに過ぎず之れを去る五月の▲最高潮時に比すれば約百圓方の下値となりたりされど何ほ之れを戰前の二百四五十圓なりしより見れば倍額に近き値を持し居るに付近時朝鮮に於ける黑鉛鑛業熱が部を通じて旺盛なるは其の所なりと云ひ得べし而して目下の所內地の鐵工造船界に要する鱗狀黑鉛の一箇年の需要高は約四千噸なるが右量の黑鉛は現在朝鮮の產出にて充分供給するを得べく今日頻々と當局に出願しある黑鉛鑛區が續々採掘許可を見るに至らんか或は近く朝鮮產は內地の需要を超過するに至らん何ほ何故▲最近の鑛業界が黑鉛に注意を向けたるやと云ふに黑鉛の需要大に內地に起りたるも一因なれど之れをタングステンの如き鑛物に比し資金の回收迅速に出來するためと云ふべく又如何に黑鉛鑛區の出願多きかてう事は戰前朝鮮に於ける鱗狀黑鉛の採鑛僅々三十箇所に過ぎざりしも今春來一箇月の採鑛出願件數三百件以上を算し居るを見るも之れを知り得べし又其の產地は平北を中心とし平南咸南各道等多し

◎統一と貯炭場

龍山貯炭場擴張

滿鐵會社にては今回滿鮮鐵道統一實施の結果鮮鐵需要石炭の配給上貯炭場設置の必要に迫り種々調査中なりしが結局當分は其新設を見合せ差當り應急策として既設の二貯炭場（現在龍山、平壤）の中龍山貯炭場を擴張するに決定せり朝鮮へ輸送する撫順炭は年額約三十萬噸內外に達しつゝあるも其大部分は鮮鐵の費消するものにして未だ一般の需要に應ずる能はず元來滿鐵は大なる輸送力を有するを以て朝鮮方面に於ける需要を充たすに平素大規模の貯炭場を設くるの要を認めず殊に近來世評に上り居れる京釜線大邱驛に貯炭場を設置するが如きも其面積及び收容力に至る迄具體的に發表し居れるを見るも滿鐵にては今日迄斯る發表は勿論事實斯の如き計畫は爲し居らずと朝倉販賣課長は語れり（大連）

◎横斷試航船敦賀著

朝鮮郵船會社の日本海横斷試航船平壤丸は四日午後六時無事敦賀に著したるが乘客三十名の外生牛百五十三頭を搭載せり途中風波高く豫定より一日後れて著せしも船客中一人の病者なく生牛も凡て無事なりし是まで生牛の輸送は屢々行はれしも一頭も斃死せざりしは今回が始めてなり（四日敦賀にて特派員中島克己發電）

◎朝鮮郵貯現況

七月末に於ける朝鮮郵便貯金の現計は預入人員百十一萬三千人金額一千一百十一萬一千圓にして金額は前月と殆んど差なく多くの增減を認めず唯預入人員は若干增加し一人平均十圓に及ばざるに至れり

◎七月の手形交換

七月中に於ける京城手形交換所の手形交換高は枚數三萬九千四百三十六枚金額一千零六十萬五千七十六圓なり

◎白井中將著發

旅順要港部司令官陸軍中將白井二郎氏は其の親戚山根東宮武官長逝去の急報に接し三日夜旅順發五日午前八時南大門驛著同三十分發列車にて南下東上したるが停車場には秋山大將古海中將關屋局長高橋武官其他の送迎あり

▲中將は曰く　今回の歸東は全く山根少將の不幸のために來るべき陸軍大異動とは何等の關係なし朝鮮を去つて滿一年、今此の急行列車に搭乘し北より南に長驅する事は多少の感慨なきに非ず又此の一年間に朝鮮の官界及び民間の主なる向は大部分更迭したり然も概して之れを觀れば少壯の新人物が各々要位に就きたりと云ひ得べく朝鮮の如き新に拓殖經營を要する土地は治者被治者共新人物（必らずしも年齡を問はず）の手腕に俟つもの多し關東都督府も今回要部の更迭あり隈部少將新に朝鮮より來つて警務總長の位置に著き既に警察行政を管掌し居れるが一般の氣受け良好なり實は京城に下車の上種々快談したきも旅行を急ぐため其の意を得ざるは憾遺なり

◎藤川長官歸省

平安北道長官藤川利三郎氏は暑休を利用し歸省のため五日午前一時南大門驛著列車にて入京同日午後七時五十分發列車にて內地に向へり

◎大使夫人通過

駐露大使內田子爵夫人政子及び令孃滿子並に矢野大使館三等書記官其他從者の一行は五日午前八時南大門驛著同三十分發列車にて南行夫人令孃及び從者は夫人里方の鄕里大和に向ひたるが停車場には秋山大將久水外事課長同夫人其他の送迎多かりき

◎滿洲鑛業銀行計畫

支那財政部に於ては滿洲の鑛產頗る豐富なるも民間の資本乏しき爲めに之を開發する能はず空しく其利權を外人に奪はるる事を遺憾とし長春又は哈爾賓に一鑛業銀行を設けて此等の國富を開發すると共に外人の侵略を防がんとの計畫を樹て滿洲當局者と協議して調査實行せしむべく委員を派遣せり（北京）

◎船腹調節策

稍々具體的に進捗

遞信當局は船腹調節に關し飽迄穩和なる手段を以て多少實効を顯さんと期せる如く一兩日內に京濱名古屋阪神の有力なる荷主を招聘し調節の方法を講ずべき方針にて既に通知を受け上京せる荷主もあり當局の腹案は（一）危險區域にある船を米航の如く比較的安全なる方面に向ける事（二）積荷少なき方面の船を多き方面へ廻す事（三）運賃引上（四）或種の貨物に限り帆船使用の事　如上の四案にあるが如く前回に比し多少具體的に進みたれば場合に由りては多少の目鼻附くやも知れず因に同省にては調節策に對する資料に充當すべき目的にて二日幾郵商東洋其他へ現在に於る各方面行の滯貨取調方を通牒したりと（大阪）

◎各地の喜雨

▲慶北地方　七月上旬降雨ありたる後晴天連續し農作物は漸く順調なる發育をなしつゝありしも最近に至り餘りに晴天日數の多さに過ぎたる爲め旱魃の聲隨所に起り甚しきは水田に龜裂を生ずるところあり且つ溫度は著しく昂騰し室內華氏百度以上を示し水稻は勿論のこと一般農作物の被害夥しく今後一週間も此の儘にて推移せんか田畑の作物は共に枯死の慘狀を呈するもの益々多きを加ふべく氣遣はれ居たる折柄四日午前一時三十分より同五十六分に亙り約七合の降雨あり更に同十一時頃より三時頃まで斷續したる降雨の爲め溫度は頓に降下し農作物は忽ち蘇生したるが如く農民の喜び一方ならざるものありき（大邱）

▲晉州地方　四日夜より降雨あり連日の旱天に枯死に瀕したる農作物も之にて恢復すべく農民は一齊に歡喜しつゝあり（晉州特電）

▲釜山地方　四日夜來當地を中心として豪雨あり雨量三十粍三に達す（釜山特電）

▲木浦地方　木浦にては五日午前四時より降雨あり農民の喜悅譬ふるに物なく蘇生の思ひあり（木浦特電）

◎國澤理事長一行

滿鐵理事長國澤博士の一行は四日午後〇時二十五分著列車にて大田著多數官民の出迎を受け午後一時發列車にて群山へ向け出發五日群山より木浦に出て六日大田に歸著同日釜山方面へ向け出發の筈（大田）

◎連絡船乘降客

去月中に關釜連絡船にて釜山港を出入せし旅客の數は出港數合計一萬二千二百四十四人此內譯一等四百四十六人二等二千百八十一人三等九千五百十七人にして國籍別は內地人一萬一千〇七十人鮮人五百十三人支那人百十二人歐米人五百四十九人入港數は合計一萬一千四百〇一人此內譯一等二百三十七人二等二千〇七人三等九千百二十二人にして國籍別は內地人一萬〇四十三人鮮人九百〇七人支那人九十八人歐米人三百五十三人にして差引八百四十三人の出港超過なり（釜山）

【公州】

▲道長官歸任　曩に安眠島其の他の視察を兼ね湖西銀行廣川支店開業披露宴に出席の爲め出張中なりし上林道長官は三日午後八時歸任せり

▲暑氣百度　客月上旬豪雨ありて以來一滴の降雨なく日々暑さを增し來りたるが此の數日來殊に甚だしく警察署の計暑表に依れば頃日每日百度に昇り居れりと

▲技師出發期　曩に黃海道へ轉任の命に接したる道技師指宿武吉氏は病氣の爲め今迄出發を見合せ居たるが愈病氣全快したるを以て六日當地出發赴任の途に上る由

【大邱】

▲面制施行と打合　慶尙北道は來る二十日より二十二日に亙り道廳會議室に於て道內一府二十三郡各庶務主任會議を開催し面制施行に關する事務打合をなすべしと

▲東拓地籍調査　東拓大邱出張所にては過般來管內各地に於ける地籍調査中のところ既に其の大部分の調査を終りたれば遲くも本月中旬頃には全部の完結を見るに至るべし

▲分隊事務引繼　大邱憲兵分隊に於ける事務引繼の爲め倭館憲兵分遣所長大塚佐吉氏は三日來邱したるが事務引繼完了と同時に來る八日歸任の筈

▲軍隊射擊演習　大邱步兵第八十聯隊第二中隊は來る十日達城郡花園面晚村洞の南方高地に於て戰鬪射擊演習を行ふべしと

▲電信取扱增加　大邱郵便局七月中に於ける電信取扱數は發信四千三百四十五通着信六千九百六十四通中繼六千五百六十七通合計一萬七千八百七十六通にして之れを昨年同期に比較せば着信に於て約二千通發信に於て約倍數中繼に於て約一千一百通の何れも增加を示し居れり

▲靑年會發會式　豫て大邱靑年有志數名の發起にて創立手續中なりし大邱實業靑年會は今回愈々慶北警務部の認可に接したるを以て本月中旬頃第一回總會を開催すべしと

人事消息

▲埼玉縣教育視察團一行　二十九名五日午前入京京原へ
▲芳賀總督府醫院長　四日午後馬山へ
▲ジヨン氏（米國實業家）　五日朝退京
▲藤原金吉氏（殖產銀行員）　同上
▲ウヰンケル氏夫妻（米國人）　奉天より入京五日朝鮮ホテルへ
▲フレーリー氏（米國人）　米國アルミアンより來鮮五日朝鮮ホテルへ
▲スミス氏（神戶居留米國人）　五日入京朝鮮ホテルへ
▲ルバート氏（東京居留米國人）　五日入京朝鮮ホテルへ

◇茶目で風流な新民政長官

―宮尾舜治氏の半面―

▼前關東洲民政長官白仁武氏は其風采からして村夫子然たる丈けに何れかと言へば眞面目で卒直な人物だ

▼謹嚴な白仁氏にも其れ相應の隱藝があるもので何んでも先年大連取引所の設立が確定した當時は大連の某旗亭で民間關係者を招待して盛宴を張り席上褌一つの赤裸々でステテコ〳〵踊の奇藝を觀覽に供し並み居る豪傑連をアツと言はせたこともある

▼新任長官の宮尾氏は其臺灣總督府在官時代官命を帶びて世界の各殖民地を巡回視察し南北兩極を除くの外五大洲中足跡の及ばない所は無い

▼其旅行に攜帶する革鞄には世界各國ホテルのラベルが一面に貼り附られ生地が見わない樣になつて居る先づ現時に於る殖民通と言つて不可ないのであるが先生却々の酒豪で酒と來たら斗酒傾け盡さねば止まずポケツトにはウヰスキーの小瓶が常に匿まれて居るものである

▼折花攀柳の風流韻事亦少からずで其遊び振と來たら頗る振つたものである

▼先年支那漫遊の途次大連に立寄つた時は某旗亭で石炭入れのバケツを取て石炭を座敷中に打撒き藝妓の襟元から酒を浴せ掛け燐寸で障子に火を附けるなど大茶目振を發揮して滿鐵の犬塚、田中と云ふ豪の者をアツと言はせたこともある

▼先生學生時代に瓦煎餅を發明して之を燒き之を賣り學資を得たもので今の兩國の龜の子煎餅は何でも先生のもので相應に收入もあり寢て居て食はれる輩の一人といふことだ

▼何にせよ元氣滿々の男であるから其意氣込で行れば在滿邦人の潑剌たる元氣に副ふことも出來るであらふ兎に角宮尾氏の關東洲民政長官は適材適所と言つて不可あるまい（東京特信）

▲內田駐露大使夫人政子(右)と令孃喜滿子(七歳)=出迎へたる久水課長夫妻(五日朝南大門驛にて)

◎內田大使夫人を迎ふ

不自由な此頃の露都生活

悲しき父の訃報=最近の暴動=列車内の混雜=上流の交際界=ペルシヤ米が一斗卅圓=獨兵の露都見物=獨探の警戒

朝風涼しき五日午前六時半京釜線の車中に駐露大使內田子令室政子夫人の歸朝を迎へた、輕ろやかな黑の喪服を著けた夫人は其の天成の色白の顏が一層引立つ、今し朝の化粧を終つた所らしく永い旅中の事とて頭髮は無雜作に眞中から分けて結び滴たるやうな愛嬌を見せ『忌中で御座いますので實はお話し致しにくいので御座いますが……』と前提しつゝ語る丁度先月の二十二日露都で大和の里家の父(大倉庄三郎翁)が危篤と云ふ電報に接しました

◆多く外國に出てゐる

私は母の臨終にも侍らなかつたので

コレハと驚ろいてすぐ歸朝を思ひ立つたのですが御承知の如く此頃の露都發極東行列車は非常に乘客が多く前以て乘車券は豫約して置かないと容易に手に入る事が出來ません、若し急に得られなければ茲に同行して居る矢野書記官が御歸朝なさる事となり既に切符を求めてゐらしたから書記官の分を繰り更へて頂だかうとさへ思つてゐましたが幸に大使館の方の盡力で二十三日乘車券を得られ二十四日の火曜ペトログラードを出立致しました

◆長旅の西伯利亞線の車中も あらんと案じ續けつつ

實父の容態如何

三日の午前三時頃ハルビンに著きますとそこに悲しい父の訃報が私を待つてゐました日本に居りました所で不幸が突發致しますれば隨分間に合はぬ事もありますけれど、かうして遠い外國に參じてゐますと肉親の臨終の間に合はないと云ふ遺憾は實に切りに感ずる樣で、あれを思ひこれを憶つてゐると、不覺にも胸は悲しみに塞つて來るのでした……露西亞の事は今申上げても又お聞きになつてもあちらに行つて見なければ眞相は決して分りません

◆以前露西亞に永年居らした

露西亞通の方でも

革命後お出でになると

からも變つたかとお驚ろき遊ばすのです、革命と申せば三月中旬私等が露都に著てから二三日目に突發したのでした、當時私は爆彈の破片とか流彈とかにあたつて負傷したやうに日本に傳へられ方々のお知己からお見舞ひを受け恐縮しましたあれは間違ひで實は私等の乘つてゐた列車が露都に今一日と云ふ邊で衝突をやり其の衝突の刹那窓ガラスが大分破損して

◆どうした機會か私は

左の咽喉に微傷を

負たのでした、甘微傷の報と

露國空前の大革命が日本に一しよに傳はりましたのですつかり私がお轉婆をして、あの革命騷ぎの最中の露都に飛び出してでもゐたやうにとられたのです、大革命の勃發後露都の秩序は先づ大體に於て漸次整つて來たやうでしたが、私等の立つ七八日前の十六日頃新聞でも傳へられてゐるやうに大變な騷ぎが市中に起り、一部兵士や勞働者の反政府暴動實に熾烈を極めました、それを取り鎭めるために政府の指揮を受けた軍隊が續々出動し

◆現に大使館の前の通りなど騎馬のコサック兵が縱横に馳驅

し凄じい銃火の音と轟く砲聲と多衆の叫喚の聲は凄じいものでした、今後露國內の形勢がどんなに變化して行くかは私等の全く圖り知る事の出來ない問題ですが、私は露國內の情況が今日以上の險惡を呈しない限り遠からず再びペトログラードに歸る考へです、露都から此方に參ります西伯利亞線列車中の秩序ですか

◆革命後暫らくは

歸休兵乘車の激增

で全く車內人を以て埋まり

廊下も化粧室も人の鮨しづめだつたさうですが、私等の搭乘しました列車は列車長が誠によく氣をつけて途中から無理に乘らうとするものがあつても、それを斥ぞけたため安樂でした、前申したやうに露都に私共が著きまして大使は前皇帝に國書の捧呈を致すとすぐ革命騷ぎとなり今日迄ゴタ〳〵してゐますから、ペトログラード上流社會婦人連との交際などは少しも致しません、從つて交際界の事は未だ全く存知ません

◆露都生活を初めてからは

すべて物價は暴騰

するし不自由勝ちです

白パンの如き仲々得られませぬから大使館ではパン粉を買ひ込んで燒いてゐます一體露國內を通じ食料が非常に缺乏してゐるのかと云へばさうでもないらしいですけれど運輸交通の便が十分でないため、ある所にはあるし、ない所にはなく露都の如き酷く困じてゐるやうです、大使館使用の露人は毎朝午前五時頃から黑パンを買ふべくパン屋に出かけて行くやうですが

◆多數の市民と共に可なり

永い間待つてゐて

も其の需要者が多過ぎ

たりすると手に入らぬ事も珍らしくないらしいです、私共は時折米を求めます、然し之れも仲々得られませぬ、漸く見出しても臭いペルシヤ米が一斗三十圓といふ吃驚する高さであります、露西亞は御承知の如く七月二十七日から八月十五日迄外國人の自由な國境出入を禁じました、これは隨分獨探が入り込んだりしてゐるのでその取締りから來たものかと思ひます、露國內には獨探でなくとも露獨戰線の獨兵がよく露都に入つてゐると云ふ事です、露人が其の獨兵に何のために來たか、お前は俘虜であるかと聞くと

◆其の獨兵はイヤ聯陣で露軍と

對時してゐる間に

露兵からペトログラード見物

を勸められて來てゐるなどゝ云ふものがゐる、そんな話を私等が聞きますと虛言であらうと思ふのですが事實らしい、こんな風だから國內の大掃除をやる考へでせう、然しお蔭で在露日本人の迷惑は少なからぬものです、現に私等と同じ列車で國境出入禁止令の出る前露都を出發した邦人は西伯利亞線の途中で、其の實施にあひ、ハルビン經由歸國の筈でしたが、旅券なきため滿洲里驛の露支國境が通れず、カリムスカヤからハソロスク線で浦鹽に出で、同地の日本領事より旅券を得て歸朝すると云つて居られました、又

◆邦人が二人程滿洲里驛に

國境通過旅行繼續

が強く拒まれたので

露西亞官憲のため下車を餘儀なくせしめられた樣です、露都の氣候は八十度位でセルの單衣で凌げます、ハルビン以南非常に暑さを感じて弱つてゐます、喜滿子(令孃)はペトログラードに著ゐた當時は甚く日本を戀しがつてゐましたが其後スッカリ露都に馴染みました……』

◎福岡炭坑鑛夫一千名の暴動

▽炭車三臺を破壞して放火す

福岡縣西新町福岡炭坑鑛夫一千名四日朝より同盟罷業を企て炭車三臺を破壞し且つ放火せり(福岡電報)

◎故山根陸軍少將の葬儀

故東宮武官長山根陸軍少將の葬儀は五日午前八時大久保百人町の自邸出棺青山葬場にて佛式を以て執行せらる儀仗兵一個大隊の弔銃發射あり文武官數百名會葬せるが盛儀なりき(東京特電)

◎哈爾賓に暴漢橫行

哈爾賓來電に據れば同市內及日本人にて一市街を成せるモストーワヤ街とプリスタン街との一小區域にて每夜拳銃の音聞ゆる由なるが右は暴漢夜に乘じて橫行するものにして慘死者の屍體日々街路に橫はり居れりと(大阪特電)

◎美術研究會の第二回例會

五日西大門俱樂部にて

京城美術研究會第二回例會は五日午前八時より西大門俱樂部樓上に於て開會國分長官、前田大佐安藤又三郎氏、及び荒浪、鵜澤、大塚、橫山、山口、前澤、河野、長谷川、高木、阿部の諸氏各自美術品を持寄り

◆各々持寄りの來歷考證

等に就きて一通りの說明あり

たり當日持寄りたる美術品は書畫最も多く高木德彌氏の源空上人眞筆の佛畫前田昇氏の隣松の瀧登鯉、河野若鐵氏の東湖の書、山口精氏の文晁の瀧、橫山彌三氏の瀧、鶴谷氏の書等珍らしい物が少なかつた出品に就て一通りの說明批評等を終りたる後壽町渡邊某氏の茶の間床飾あり それより別室に於て

京城美術研究會の出品

▽海鶴氏書道談

◆入京中の書家海鶴丹羽正長氏の書道に關する一場の談話

が有りたるが其の大要に曰く現今書を學ぶ者は皆な夫れ〴〵己れの好む處に適き或は六朝書體を善しとし或は唐代の書を好み或は宋の諸家が好しと各自好む處を賞揚すれど必ずしも何れが是にして何れが非なるかは俄かに判別斷定を與ふる事は至難なりされど古來王羲之は書聖として書道に就く者の一度は必ず研究せざるべからず王羲之は階行草の諸體に通じ

◆其の書風は神彩奕々として

千古の下に生動するの趣き

がある階書には樂毅論、東方朔畫贊等が有る然れども王羲之の筆蹟として今日に傳ふるものは復刻に復刻を重ねたるものにして殆ど羲之の眞筆を窺ふ事能はざる如き憾みあり幸ひ我國には正倉院御物中に光明皇后の筆に成る王羲之樂毅論の寫あり其書し古雅韻の趣き渴望を醫するに足るものあり行書には彼の蘭亭帖あり其の數、幾十種と云ふ數を知らず

◆其の種に由つて優劣あり

等差あり王羲之の眞筆に

唐の大宗皇帝太く之れを愛し崩ずるに及び遺命して其生前鍾愛せる羲之の書を併せて悉く之れを埋葬せしめたり此の他草書帖にも亦幾多の異本あり書道を學ぶ者は其の內より羲之の神髓を傳ふるものを選出して學ぶの他に道なしと更に拓本の鑑識法を擧げ終りに要するに多くの拓本に接し夫れに關する知識を豐富にするに如かずと述べたり

□八月五日溫度

華氏八十一度四分 (午後三時京城測候所發)

三日最高溫度八十五度三分

◎京都大津間 鐵橋崩落

一名人事不省

京都大津間電鐵沿線山科停留所より東四丁京津鐵道線路に架設工事中の鐵橋長さ五十尺幅三十尺は四日午後五時半崩落し之が爲め一名の工夫五十尺の高處より墜落人事不省に陷れり崩落せる鐵橋は容易に復舊の見込み立たず京津電車は一時大混雜を極め十時に至りて漸く開通したり崩落の原因は構造不完全の爲めならんと傳へらる(大阪特電)

演藝案內

大正館 櫻井町 電話八七三

日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店

▲八月二日より特別大興行 ◎實寫歐洲戰爭テルモンド包圍戰 ▲米國カレム會社特作 ○大冒險大活劇『ヘレンの冒險記』全三卷 野村雜徳、藤原保說明 ▲日活東京派立花貞次郎一派出演 ○新派大悲劇『俠藝者』全三卷 [illegible] ▲米國カッブ會社近作 ○滑稽活劇『亂暴者』最長二千呎 ▲大阪朝日新聞連載水戸黃門の內 ○舊劇『一國女』全四卷百六十場 [illegible]

有樂館 早川演藝部直營 活動寫眞常設館 電話二九七番

▲八月二日よりの特選大寫眞(普通料金) ▲ユニヴァーサル週報四十三號 ▲ユ社十七分社の一バサデナ社製 ▲滑稽『凸坊綺譚の卷』 ▲ユ社十七分社の一エルコー社製 ▲滑稽『パイプ屋の危險』 ▲ユ社十七分社の一レッドフイザー社特作 ▲大活劇『大金塊』(一名思ひの旅路)五卷。名優ケーレンケリガン氏がレッドフイザー社に現われたる最初の試にして最も斷れたる妙技を示せし博士作者でツクルサイリス氏 ▲登場俳優 ケーレンケリガン氏、レーモンド氏、モードジョージ孃、ルイスウイルソン孃、ハーリーカーター氏、ハーリーゲリーフイツシス氏 ▲東京小林商會特作柳川春葉作 ▲新派『母の心』全三卷 ▲登場俳優 中村秋孝、宮嶋健、三木久雄、佐川素経、多知花靜衞 ▲有樂館の活動は大正六年七月二十七日附を以て年中無休の許可を受けたり ▲有樂館は常設館の內容充實せりと上場のフイルムは高尙にして優秀鮮明なることを公言す

連日連夜滿員の大正館は大阪朝日新聞連載水戸黃門の內一國女を上場致居候

壽座 京城壽町 電話五七八番

▲八月四日より若葉會 キネオラマ應用悲喜劇鬼笑會一行 ▲一番目 笑劇 家族會 二場 ▲二番目 悲劇 朝日丸 三場 ▲三番目 悲劇 神港情話 二場 ▲四番目 喜劇 トランク 一場 ▲入場料特等七十錢、上等五十錢、二等三十錢、三等廿錢

黃金館 電話二六三七・二六六

天然色活動寫眞株式會社京城黃金町一手代理店 ◎八月四日より寫眞全部差替 ○新派悲劇『戀衣』身は佛門にあれど戀の道には脆きものなり劇の內容は遠き昔を思ひ忍ぶ興味ある新作 ◎米國パテー會社連續大寫眞 ○魔?人?護影 第三、第四編 四卷 大蛸に引かれて海中に沒したセリー、カーソンがエリック大博士の發明を得たる魔力に依て神變不思議の活躍せんとする [illegible] ○新派喜劇『野崎村』二場 ○中獨特妙技 [illegible] ○舊劇『高田右衞門』[illegible] より大阪城入城に至る迄のお物語り ○毎日午後正六時三十分開演 日曜日晝夜開演

浪花館 明治町 電話二六○

東京落語雷門助六一行 七月二十八日より開演 ▲落語(助丸)▲落語(ぽたん)▲落語(新?)▲音曲手踊(助六)◆落語(助三)▲落語大角力▲常磐津(和佐八)▲名物踊(社中)▲落語振事(助六)▲落語劇(社中) ▲入場料一等金三十五錢▲二等金廿五錢▲三等金十五錢

富の道しるべ 山縣五十雄 村上唯吉 共著 價十五錢 郵稅二錢 京城大平通京城日報社代理部 振替三二○○番

◎一等四千圓當籤ある 月賦販賣

一通一組 同一番號の御希望の方は最初第一回金四圓を御送りになれば御希望番號債券記入の引換證を御渡し致します○其他二千圓債券は第一回金二圓でも宜しく御隨意○タッタ一ケ月五十錢の拂込で六通債券の抽籤權利あり ○小口月賦販賣は最初申込金五十錢を御送りになれば六通債券の番號記入の證券を差上ます

◎各種有價證券擔保低利貸付 何時にても迅速御貸付し地方は證券御送り次第直に貸付金御送り致します

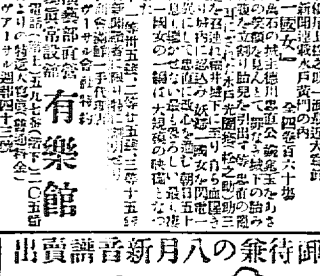
京城長谷川町五八 振替京城三五七五 債券月賦販賣所

有給外務員採用

御希望者は自筆履歷書及戶籍謄本添付返信料付郵送採否は通知す要保證人

南大門驛前 一見旅館內 鈴木主任迄

御待兼の八月新音譜賣出



義太夫 千本櫻道行 / 合邦 / どろ / 名 / 水戸黃門記 / 篠山 / 尾上伊太八 / 千鳥の曲 / 番町皿屋敷 / 彥山權現誓助劔 [illegible]

(新譜レコードは定價の半額提供)

京城本町二丁目二九 日本蓄音器商會 電話一二八一番 振替京城六八四

內科 小兒科 村上病院

京城永樂町一丁目(高商陳列館前) 電話六一三番

院長 醫學士 村上龍藏 副院長 熊本醫學士 松下三雄

醬油値上廣告

一、値上一割

原料の騰貴並に容器附帶費昻騰に從ひ從來の値段にては營業困難に有之候間不得已八月十日より右の通り値上可致候に付不相變御引立被下度此段謹告仕候也

大正六年八月五日

(イロハ順)

裡里醬油釀造組合

太田醬油釀造組合

江景醬油釀造組合

群山醬油釀造組合

金堤醬油釀造組合

全州醬油釀造組合

純良の藥品と賣藥が揃つて居ます

クラブ化粧品代理店ですから……御値がお安いです

京城本町二丁目角 古城贊化堂 電話一○二番 振替七三七番

…昨年八月實の妹きね(二)を絞め殺し床下に投げ込みたる村田幸太郎(三)は四日死刑を執行せられたるが十五分にて絶命せり(大阪特電)

…日夜三名の生徒遊びに來りたれば片栗粉を與へしに中毒して三名共死亡したるを以て取調べたるに亞砒酸が右の片栗粉に混入しゐたる疑ひあり

…開くに窃盜に關するもの千六百四十五點詐欺に關するもの二百四點横領に關するもの五百五十五點價格合計八千二百四十八圓六十六錢なりと

…か(三八)も同斑赤痢として何れも入院加療中▲又花洞高等普通學校寄宿舍永治壽憲治(二四)は一日腸窒扶斯にて入院せり

…し龍山小倉根大尉は四日朝八時より憲兵隊司令部將校集會所に於て最終の教授を爲し同十時講習を終了せり

◇◇大和アルプス

大臺原紀行(二)

◆樵夫に路を問へば吉野に出づると云ふ、一行聽いて『勿越しそ』と云つて引返した、勿越谷は中央大臺教會の在る處、正木ケ原片腹鯛の池は義經携へたる鯛の片身を放つたと云ふ、日延谷は一行路に迷ふて空しく半日を消し、谷に沿うて又元の正木ケ原に出たと傳へる吳來谷の稱も殘つてゐる、義經の一行は艱苦を嘗めて遂に伊勢路に出で加賀に落ちたのである。

◆又室町時代嵯峨の里に匿れおはした南朝の三皇子を比叡の山法師と伊勢の國司等謀し合して誘ひ參らせ幾度か義軍を起したが利あらず、三皇子は懐しき吉野を遁れ大臺の麓に世を避け給ふた三公御所の地名は御隱棲の蹟である、後三皇子世の疑ひを避けんがため相謀つて大臺ケ原西の山峽小瀬の里北麓河野谷及び北方三里ばかりの山間に三宮分れ〳〵に住み給ふ事となつた、春秋幾度かめぐつて御蹟は堙滅し只蒼松翠杉に昔を聞くべくもなく、雲霧は長へに大臺山一帶の地を鎖ざした。

◆かくて幾百年の久しき山靈の跳梁に任せ怪鳥猛獸の恣に委した大臺ケ原山は、今より二十年ほど前大和の大地主土倉庄三郎氏が所有山嶽の伐材運搬利便のため吉野郡川上村柏木より迂餘曲直六里餘の二間道路を作り途中幾多の嶮岨險峻はあるが山頭大臺ケ原まで脈々たる一路絲の如く續くこととなつた。

◆爾來千古の怪異を封じたこの靈嶽を窮めんと學生旅行家專門學者など二日路を跋登して爰に辿り著く、その頂巓の高原中央に宏壯なる神殿作りの大建築が得れてゐる、この深山幽谷の巍然たる建築には誰か驚かぬものがあらう、神道顯誓大臺教會のそれは之である、會長は本年六十二歳の古川高と云ふ翁で、實に當山草創の第一人者である。

◆今から約三十年前初夏の頃吉野郡上北山小椴の村落へ漂浪して來た白衣の壯漢は即ち古川翁の三十幾歳の姿であつた、岐阜縣郡上の産で放蕩の後悟る處あり役小角大峯跋渉の壯快事を偲び山嶽探渉の行者となつて日本中を漂浪し前後十餘年中央日本アルプス連峰は勿論中國四國九州の大山峻嶺を踏破し名に負ふ大和大臺を窮めんとして登山第一の關門たる爰に來たのである。

◆一升五合の米と古鍋一個を持ち山又山に分け入つた翁は東西三里南北五里の高原を縱橫に踏破し高峰深谿を窮め遂して七十五日目に小椴村へ踏つて來た、村の者は翁が行蹤二ケ月に垂として不明であるので搜索隊を出さうとしてゐる折から宛ら神佛の如くなつて翁が踏つて來たから何れも驚異の眼を見張つた。

◆神仙の名近郷に噂がり信者を得るに至つたが志は大山靈嶽の開拓にあるので山林長者土倉氏上市の北村氏などを説いて淨財を喜捨せしめ道路の開拓敎會宿坊の建設を企てたそれが明治二十六年の春で、木材は自由であるが寒氣のため四月より九月迄の作業より出來ぬので年を重ねて三十二年の夏、漸く海拔五千尺の高原に十三間三尺四面の本殿五間八間の二階建客殿が竣工した。

◆翁は爰に三十年間の山籠り、羽化神仙とも云ふべき行者となり、參謀本部地圖にも僅詳かならぬ山河を翁は暗記してゐる、彼れは大臺ケ原山の活地圖である爰に探勝の足を入るゝもの同敎會の恩惠に浴さぬものはない。

◆夏季の登山は雄渾の氣を養ひ豪壯の精神を培ふのである、健者の登攀を奬勵する所以である。

◉天日に干して 良い品惡い品

△土用干は斯うしなさい

梅雨期を經過した物は怎うしても秋氣の乾燥してゐる點から云へば秋の方が適してゐるのですけれど、

▽黴が生える 樣な惡がありますから土用中に一度蟲干をする必要が御坐います土用中の天氣のよい日を見定めて朝の中から取掛り絹布物は絶對に天日に晒さず家の中の風通しよき場所に吊して置き、夜具蒲團や木綿物やなどは

▽褪色の虞れ 少きものだけ天日に出した方がよいと思ひます大概一寸身に著けた衣類は揮發油かベンジン油で拭いて畳つて置いてありますから澤山の黴が生へてゐる樣な事はありますまいが一寸氣の付かなかつた處に汗や何かの爲めに星が出てゐる時は揮發油で拭いてから乾し甚い黴ならば

▽餘程叮嚀に 拭き取る必要があります、それが白いものだつたら過滿俺酸加里で一度拭いて亞硫酸曹達で拭いて戻すとよくなります、簞笥や長持のやうな容器は古いものなら格別新しいものですと天日に乾すと惡くなりますからよく

▽掃除して蟲 などを除き蟲の卵がある穴にはテレピン油を注して風通しのよい日蔭に乾した方が宜しいでせう書籍其他日に當てゝ差支ないものは良く叩いて二三時間天日に晒した後家內に運んで三時間位放つて置きますと熱が冷めます、モールの如き

▽金屬製品の 入つてゐる物へは樟腦を入れると惡くしますからナフタリンを入れた方がようムいます、兎角ナフタリンの方が効能がありますが匂ひを付ける爲めに双方半々位に入れるのもよいと存じます斯うして土用干をしても毛織物だけは十月末頃又乾た方がようムいます

◉潮遠き海遊び

仁川の日曜

五日の仁川海水浴は日中殆んど滿潮の無き爲め折角の日曜も早朝及び日沒頃ならでは使用する事を得ざるも既報の如く海水浴場にては入場者の便宜を計らんとて中洲との連絡を自由にし貸船及び釣具の賃貸等をなすを以て日中の潮干狩には好都合にして尙住日中干潮時と雖も全然潮干するに非ざれば遠く沖中に出で、游泳する事を得るのみならず反つて遠淺にして婦人小兒の海水浴に適し居るを以て京龍地方より潮干狩がてらの海水浴客も多かりし

渚の砂

■破戒の僧侶 東京淺草北清島町林光寺の僧侶久游諦松師(二〇)は此の間人妻と關係した末抱合ひ情死を遂げた

■書生と藝妓 愛知縣矢作町商科醫の書生中根與三(二六)は岐阜縣土岐郡多治見町の藝妓山田きん(二二)と馴れ合ひ二十九日夜武儀郡吉田村の山中で劇藥を仰ぎ男は絶命したが女は死に遅れた

■大賊は機關手 九州鐵道大里驛機關庫在勤の機關手安田鶴吉(二七)は昨年十二月以來貨車內の貨物を拔き取りたること十數回被害二千餘圓に達しその金にて豪遊してゐたことを門司署に探知されて逮捕された

■圖太い小僧 埼玉縣南埼玉郡江面村中川美代太(一二)は七歲の時から掏兒になり今日迄に前後四回感化院に送られた

■樺太の大龜 樺太東波止場に三十日夕長九尺幅三尺餘目方三百貫もあらうといふ大きな正覺坊を一般觀覽に供したが兩日港外で捕獲したものださうな

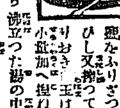
■危ない水遊び 下關市[illegible]寺町飴屋與田伊之助の子供武勇(九つ)すゞと(七つ)錦四郎(三つ)及び附近の山下久治(七つ)の四兒は八月一日朝近所の海岸で水遊びをしてゐる內四名共行衞不明となつた伊之助は飴屋商賣の爲め不在中とて母親は此の椿事を聞いて逆上の餘り一時氣絶し辛くも蘇生したが二人だけは生きてゐたことが後から判明

圖演藝雜記帳

有樂館は從來の關係で早川氏の手に移つてから活動寫眞の興行は一箇月中四日間に制限されてゐたが先月末から其筋から許可命令があつて年中無休と云ふ事になつた▲これによつて京城の活動寫眞館として完全なものになつたわけだ▲活動寫眞で思ひ出したが▲映畫は各舘それ〴〵特色があつて東京大阪を除く內地の重要都市に比し甚だしい遜色があるやうには思はれないが▲興行法には改良すべき點が多いやうだ先づ第一に實行したいのは先きに警視廳が出した規則にあつたやうに映寫時間を短縮して三十分毎に五分間休憩をして貰ひたいと思ふ▲現在のやうに一時間も二時間も同じ寫眞を續けて寫しては觀客の眼を疲らせる事が夥だしい▲朝鮮にはまだ活動寫眞取締規則といふものが無いやうに記憶するが若し早晚然ういふものが出來る際には是非此の映寫時間の短縮を圖つて欲しいものだし更に希望したいのは當局の命令を俟たず營業者自身が進んで此の方法を執つて貰ひたい事である

■惠みの露 五日朝刊所載『生活難から發狂』の木內庄吉一家へ大平通二丁目坂元分析所より本社の手を經て金二圓を惠與せり

台所 その日その日



▲胡瓜と白玉の梅びしほ和へ 胡瓜を薄く打ち鹽をふりざつと揉んで水洗ひし又梅びしほを摺つて酢少々をかけて伸ばしておきます白玉は白玉粉に水を加へ捏ねて豆粒位の大きさに丸めながら沸立つた湯の中に入れて茹でます浮き上つて來れば茹つたのですから掬ひ上げて水氣を切つておきます、梅びしほと云ふのは漬物屋に賣つて居ますが若し無ければ梅干を擂鉢にかけて漉してもよいのであります之に砂糖を加へて能き味になし之れに白玉胡瓜を加へて和へます梅びしほの代りに三杯酢でもよいのであります又白玉の代りに寒天を煮せたのを二寸角位に切つて用ひても結構であります

おとぎばなし 犬の寄合

何がはじまつたのか、犬どもが何匹も〳〵、ぞや〳〵と、空地の方へ集つてゆく樣子。

ひよつこり、藪の中から顔を出して、それを眺めてゐた一匹の犬は、知りあひの犬の通るのを呼びとめまして、

『君々、ポチ君、何處へ行くんだ。何があるんだ。さつきから、もう澤山犬が通つたよ。』

と申しました。呼びとめられたポチは、呼びとめた犬を振向いて、

『君は黑公だな。今まで何處へゐたの。』

『僕か、僕は藪の中で晝寢をしてゐたよ。』

『さうか。それで探し出さなかつたんだよ。』

『僕を君が探したのか。』

『探したとも一生懸命に探したよ。』

『何か用があつたのか。』

『今日ね、其處の空地で犬の寄合があるんだよ、それでそのことを君に知らしてやらうと思つて探したのさ。さあ一緒に出掛けよう、いゝところで出つかしたものだ。』

『さうか、寄合があるのか。それで一緒に出掛けることにしよう。だが一體何の寄合なんだらう。』

『何でもね、フランスの犬の手柄話を、先生と、このジョンさんが話して聞かせるんださうだよ。』

『さうか、それは、きつと面白からう。さ、駈けて行かう。』

と黑公とポチとは、空地の方へ駈けて行きました。行つて見ると、もう大勢の犬どもが寄集つてゐて、先生とこの飼犬のジョンさんが、お話をはじめようとしてゐるところでありました。

ジョンさんは一段高い石の上に立つてゐました。そしてこんなお話をはじめました。

『今日は、お暑いところを、ようこそ集つて下さいました。さて、みなさんに是非お話し申さねばならないお話はかうなんです。フランスの軍用犬、つまり戰爭に行つてゐる犬が鐵砲の彈丸の雨霰と飛んで來る中をも構はずに、重い〳〵彈藥を味方の兵隊のところへ運んだのです。それも一度や二度のことではなかつたものですから、司令官の大將が大層感心をして、日本で言へば金鵄勳章のやうな鐵十字章と言ふ勳章をその犬に下さつたと言ふことが新聞に載つてゐたさうです。みなさん、このお話は、私どもが、馬の耳に風のやうに聞き流すことは出來ないお話だと思ひます。それで、わざ〳〵みなさんに寄合つて戴いて、このお話をお聞かせ申した譯でした。私どもの國は今、どことも戰爭をしてはゐませんけれども、いつ何時戰爭がはじまるか知れません。その時はフランスの犬のやうな立派な手柄をせねばなりません。その心がけでさへゐるとたとひ戰爭はなくとも、私どもは立派な〳〵犬として人間から可愛がられます。みなさん、どうぞ、このお話は、いつまでも〳〵お忘れにならないやうに願ひます。』

先生とこのジョンさんのお話は、これで濟みました。そのお話を聞いた犬どもは大層感心して、

『どうもえらい犬だ。われ〳〵も、そんなえらい犬になりたいものだな。』

と言ひあつて、自分々々の家へ歸つて行きましたとさ。

◉連絡船上陸客

四日午前八[illegible]… 四日午後九時釜山入港さくら丸一二[illegible]…(名簿 [illegible] 三等[illegible]五十七名)

明君道中記

第二百廿六席 田邊南龍口演

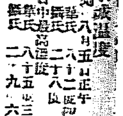
鑓繩半兵衞は六十人の身內を從へ充分に支度をいたして待受けて居つたが、容子を見せに遣はして置いた子分が引き返して來て 子分『親分來ました』 半『七八十人も押して來たか』 子分『何に六七人でございます』 半『何だそればかり』 子分『又兵衞が先に立つて後に從いて居りますのは色の生白い穎な侍が一緒に來ました』 半『侍は侍を頼んで伴れて來たか、イヤ意氣地の無ね奴だ』と云つて居りまする處へ又兵衞が來て 又『半兵衞殿、お前といふ人も判らない男だ、おゆきを歸すに就いては、寺町の賭場を譲り其の上に長吉がお前の子分の許に來るを肯き入れずして突出し、それのみならず俺の事まで彼是云ふは何ういふ譯か、其の次第を聞きに來た』 半『ヱー八釜敷老耄め、愚圖々々吐すと命が無ねぞ』 又『そんなら此の上は何う爲やうといふのだ』 半『何うもこうも無ね、汝と俺が命の取り遣りをすれば仔細は無ねのだ、野郎共撲つてしまへ』と聲の下より子分共は心得たりと槍刀を取つて突かけて參る、又兵衞今は是までなりと一足後へ退り 又『年は老ても腕前まで年は老らねゑ大黑屋又兵衞、片端から死人の山を築て見せる』 又兵衞はギラリ長脇差を拔いてさア來イと身構へた、是を見て長吉始め子分の者六七人拔きつれ〳〵立對ぶ、此時長七郎は宇平次宅兵衞三次を從へて驅來つたが、長七郎は一刀をギラリと拔いで振冠り 長『コレ宇平次宅兵衞此奴等を片端より斬て捨ろ』宅兵衞宇平次の兩人も刀を拔いて躍込む、三次は是を見るよりも突如其處へ飛込んで 三『此の木葉野郎、惡うしてくれる』と一人を其處へ突仆した、長七郎是を見て 長『三次出來した』 三『殿樣喧嘩なら俺が一番槍でごさんす、三次の腕骨の强いのを知らねわか』と大勢の中へ飛込んだ、亂暴な男があつたもので、宇平次宅兵衞の兩人は長七郎殿の御身體に怪我あつてはならんと思ふから始終左右に從いて近付く者を斬拂つて居ります、長七郎は弱年とは云へ神影流の極意に渡つて居る腕前であるから實に其の働きは飛鳥の如く、突出す槍を拂ひ除け飛び込んでは斬て落す、宅兵衞宇平次も是に劣らぬ腕前とて眞向肩先唐竹割、或は兩腕兩足等薙拂つて押し通る、此の勢に辟易して博徒共はコハ敵はんと逃出す、握々の長吉大黑屋又兵衞も是に氣を得て突出或は斬仆す、鑓繩方は崩れ渡つて見ねました、早くも此の事を大坂町奉行稻垣平右衞門の聞く處となつて役人を從へ稻垣平右衞門馬に跨つて其處へ駈付けて參り 平『ヤア〳〵何者なれば白晝劍戟を振つて市中を騷がすか鎭り居らう、若し止らずば片端より召捕つてくれる』と呼はつた時に長七郎其處へ進み 長『ヤア町奉行稻垣平右衞門とやら此方を何と心得る、下に居らぬか』と云ひながら衣類の紋所を示しました平右衞門は是を見て驚き馬より飛下り大地に手を突く 平『コレは〳〵駿河大納言公の御公達長七郎君に御在せしとは、[illegible]存ぜぬこととは申しながら[illegible]御不禮を働きましたる[illegible]』[illegible]庭前を開けますれば、[illegible]へ御入りを願ひまする』と[illegible]共に案内をさせて[illegible]殿樣へ御[illegible]いたし、平右衞門は一同の者を[illegible]て奉行所へ引立てさせ死骸は[illegible]捨てになり、[illegible]奉行所に於て[illegible]鑓繩半兵衞は遠島其餘の者は所拂[illegible]なりました、又兵衞長吉は叱り置くといふだけで下げられましたが、是は事を好んだ譯ではなく仕掛けられて爲たこと所謂正當防衞であるから深いお咎めは無かつたのでございます。

暦

八月七日 火曜日 舊六月二十日 辛巳 本命四綠 碧 開 先勝

▲四綠 我他〳〵する事有る日新事見合北方行吉▲五黄 氣張損の事有新事手控彼事は吉又散財を防がるべし▲六白 不運の日午前不印午後は吉新事手控常の事は吉▲七赤 はんき[illegible]な事有日新事手控諸事は吉▲八白 [illegible]切のせわせぬがよし▲九紫 善心の起る日[illegible]▲一白 旭日昇天の日[illegible]▲二黑 [illegible]▲三碧 [illegible]

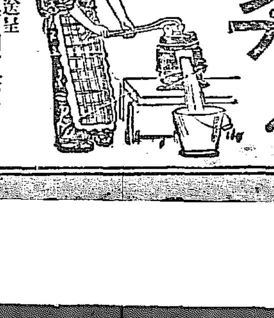
豫報



■京城溫度(八月五日正午) 京城測候所 攝氏二十八度[illegible] 華氏八十二度四分 前日中最高 攝氏二十五度三分 [illegible]九度六分

美人泣て喜ぶ わきが患者 驚可文明の賜

腋臭の爲に入學試驗に刎ねられたり纏まつた縁談が破裂した例は幾許でもあるが夫は腋臭は治らぬ者として適當の治療を施さないからで文明の今日捨置くべき問題でないので苦心研究の結果、我信頼せる東京の本鄕順天堂が發表した化學藥は此の難間を一掃して秘密に短期に何等の害をも貽さずわきが患者を潔浮無垢の身となし、むしろ成効したので泣て喜んだ美人がある、此の化學藥は誠に文明の賜で從來有觸れた醫藥に失望した腋臭患者に再生の福音を與へたものである、今や盛夏の候皮膚の發汗最も甚だしき時に之が治療を試むれば其効特に顯著なれば同病に悩める人は速に端書を以て東京本鄕區西竹町本鄕順天堂宛之が治療法を問合せらるれば人助けの爲め無料にて療法を通知さるべし



松田式ポンプ

灌漑用 家庭用

御中越次第目錄進呈 朝鮮一手特約販賣 京城本町二丁目 釘本藤次郎商店 電話四五番 二七四番 振替京城二五六番

寫眞[illegible]

鴨緑江材値上廣告

大正六年七月二十五日より營林廠木材標準價格改正に付杉松挽材及板材共約一割値上相成候間此段廣告仕候也

大正六年八月 京龍材木商組合

兄健一儀昨四日午後八時死去致候間此段辱知諸彦に謹告仕候也 追て葬儀は七日午後正五時半南山本願寺に於て執行致候 八月五日 京城若草町 弟 馬場秀藏 親戚 馬場小一郎 松原筆藏 井上鯉一 代總 遠山潔 友人 曾我勉 田中嘉助 山口商會 代總 棱友一同

一ケ年製産高百萬圓を超ゆ

桃谷研究試驗所創製

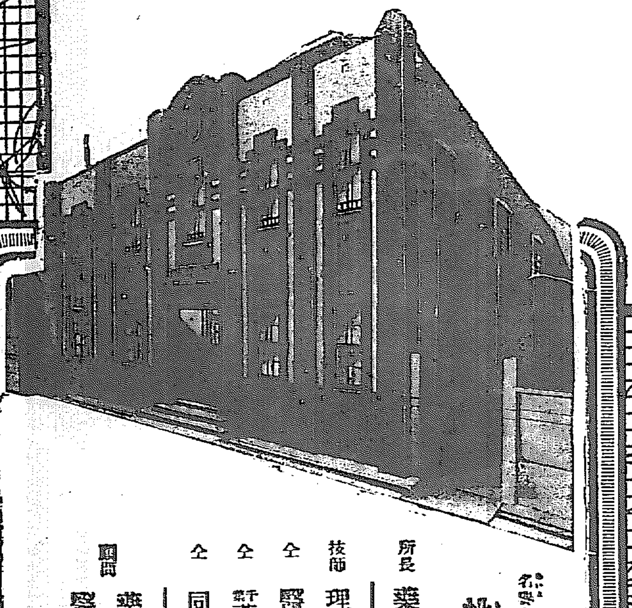
美顔白粉

生れつき色が白いやうな白さに附く白粉

光榮ある摸範白粉!!

各宮家御用美容術大家 マリー、ルウヰズ嬢

新時代の化粧料として學理に實驗に、完全優秀を期したる美顔白粉は、各宮家御用美容術大家マリールウヰズ嬢の嚴密なる試驗の上日本に於ける最善最良の白粉として各宮家に推奬せられ大正四年三月十日始めて御用命を賜つて以來常に光榮ある御用を拜す。



名聲ある美顔白粉を創製したる
桃谷研究試驗所
所長　藥學士　桃谷幹次郎
技師　理學士　西澤勇志智
仝　醫學士　米倉昌達
仝　藥學士　小磯勝次郎
仝　同藥學士　齋藤銳助
顧問　藥學博士　丹波敬三氏
醫學博士　山本淳二氏

東京 大阪 桃谷順天館

第三版

…入り其主當は本邦東北地方の沖に北進せしも依然半島は其の圏内にあ…

…の如く乾燥之雨…日を過ぎ運續せしかば暑氣盛…め迄て氣温は前旬より二度乃…來たし日々の最高氣…日々の最高三十五度內外にして其末…に於ては三十七度七に昇騰し之れに次ぐは同日京城の三十六度六なりとす大抵平均氣温に於ては大邱、江陵…なりき之れを平年と比すれば一般に一度乃至三度の高温なりき今本旬中各地の氣温、雨量等を列擧すれば左の如し

中江鎮	九	四八	三	二五.六	三四.五
雄基	五	三三	一	二三.四	三〇.三
城津	〇	四一	〇	二三.八	三三.三
元山	〇	七七	〇	二七.五	三五.〇
江陵	〇	四九	〇	二七.五	三六.四
大邱	〇	五四	〇	二八.〇	三七.七
[illegible]	〇	一九	〇	二五.六	三一.六

京城日報
八月六日
（夕刊と合せて八頁）
本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五十錢 …
廣告料 …
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
電話 …

鮮鐵沿革史畧（下）
朝鮮開發に致したる貢献

▲經營の進展

明治四十三年八月日韓併合の大業成り韓國は朝鮮と稱するに至り十月一日朝鮮總督府の設置と同時に總督府鐵道局新設せられ、從來鐵道院の管轄に移したりし朝鮮鐵道の經營を其所管に移したりと雖も、其鐵道經營方針は毫も移動する事なく著々其の歩を進め、既成線の改良工事に其の緒に就くや、直ちに新線の建設計畫に著手し明治四十三年十月西朝鮮の平壤鎭南浦間を連絡する平南線先づ成り、四十四年十一月鴨綠江長橋の竣工するや南滿洲鐵道安奉線の改築と相俟つて鮮滿鐵道の聯絡を全うし、依つて國際鐵道の列に入りたり次で忠南全南全北の所謂朝鮮三南の平野を走る湖南線は大正三年一月開通し、木浦及び群山に鐵路は伸び亦同年八月朝鮮半島の橫斷線たる京城元山間の鐵道は全通して營業を開始せり又京元線の終端元山に起り豆滿江岸會寧に至る三百八十哩の咸鏡線新設は大正三年四月を以て測量を開始したるが當局に於ては元山を起點とするものを南部と稱し清津會寧間を北部と稱しつゝあり而して大正五年七月一日元山永興間全通し更に同年十一月清津蒼坪間の運輸營業を開始し蒼坪會寧間は年內若くは明年の夏期を目途に開通せんとしつゝあり又京釜線は戰時急設なりし爲め句配其他に遺憾の點あり乃ち運輸力の增加を圖るため其の改修工事を大正三年より七年迄の五箇年間に實行する事となり先づ大田芙江間を第一著とし順次其の改良を實施しつゝあり

▲標準廣軌採用

朝鮮鐵道の軌幅は凡て四呎八吋半の標準廣軌を採用す、當初韓國政府のモールス氏に京仁鐵道敷設を特許するや軌間に關しては別に命令する所なかりしも其の後發布せる國內鐵道規約第三條は國內各地方鐵道の廣さは外國の現勢に規に遵び鐵道敷設の隔間を英尺四呎八吋半と確定すと規程したるを以て乃ち京仁鐵道は之によつて起工せり然るに半島に於ける露國の勢力漸く強大となるや韓國政府は露國の國防策に傚ふと稱し、內鐵道規則を改め西伯利亞鐵道と同一なる五呎軌間を採用せしが明治三十一年九月八日の京釜鐵道契約は國內鐵道規則第二條を根據とし京仁鐵道の軌間によるべしとなせるを以て勢ひ同規則第三條の改正を必要とし遂に復舊に復せり一方我國に於ては經費の關係上京釜鐵道に狹軌式を擇ぶべしとの議ありしも會社は將來に於ける大陸諸鐵道との連絡に鑑み四呎八吋半の軌間を實行せしが爾後著手せられたる諸線は何れも皆此式に依り夙に鮮滿間に列車の直通運轉を爲すあり此の直通は今後必然其の數を增し來るべく且つ遠からずして支那各鐵道との間に車輛の直通を見るの時期も到來すべく創業當時廣軌式を採用せし當事者の苦心は茲に其の効果を發揮せりと云ふも不可なかるべし

▲第四期に入る

上述の如く朝鮮鐵道は明治二十七年の日韓暫定合同條款に其の萌芽を發し三十二年以降三十九年に至るの創業時代を經て京釜京義其の他の鐵道を統一し更に營業の時期に移るを得たり乃ち發端より明治三十六年末に至る鐵道創設時代は之を第一期とし、滿鐵を通じて經營すべく又卅七八年の戰時鐵道線運成時代を第二期とし、十九年の鐵道統一より今日までの發展を最も生命ある第三期となし、鮮鐵に依合統一せし大正六年八月一日以後を第四期となし得べし、鮮鐵は乃ち今後第四期の經營に入る譯なり

▲鮮鐵の職員

如斯して現今の鮮鐵營業哩數は一千零六十六哩一分に延長し其の收支豫算を見るも大正五年度に於て一千二十四萬九千圓支出七百六十九萬五千圓にて差引純益二百四十五萬圓を算し又執行中途の大正六年度豫算は收入一千百六十三萬四千圓を當初計上したるが昨年來朝鮮各界の發展に伴ふ貨客の增加は鐵道收入に頗る好調を齎らし其の實收は恐らく當局の豫算以上なるべく今後斯る逐うて發展の域に進むならむ、尙ほ現時に於ける鮮鐵幹部左の如し

鐵道局長官　大屋權平
總務課長　和田駿
營業課長　三本武重
工務課長　稻垣甚
汽車課長　横井實郎
經理課長　加藤正美
建設課長　小城齊

其他の局員は參事副參事補技師書記技手以下合計九千餘人なり

鐵道統一と海運
海運の整備改善を急務とす
朝鮮郵船會社長京城商業會議所會頭　原田金之祐氏談

◈必然の機運

滿鮮鐵道の統一と云ふ事は畢竟必然來るべき機運である、大陸に於ける帝國の國際交通貿易上樞要の機關たる朝鮮及滿洲の鐵道が區々其の所管を異にすると云ふ事は國家交通政策上の障碍たるは內地に於ける鐵道國有の實績効果顯著なるに照らしても瞭らかである、予も之れを希望する事久しく且つ切なるものあつたが、今や時運に際會し寺內內閣の下に鐵道統一の實現を見るに至つたのは最も愉快に堪へざる所で自今吾が朝鮮は運輸交通上頗る形勝の地位を占めてあるから斯くが如き條件を以て滿鐵か鮮鐵の經營に當らるゝならば此の統一機關の策動により各方面共良好有利な影響を受るであらうと信ずる

◈海陸輸送の圓滑

唯此の時に際し海運業者として平素の所感の一端を述べて見たい、乃ち斯の如く滿鮮に於ける陸上交通が整備しても南鐵道が其の缺所を補ひ十分滑らかに通ずるだらうと思ふが、偖て其の集散地になつた貨物を內地へ若くは內地を經て外國へ海路輸送する途をもうつけるか、一體朝鮮だけで云つても國內の殖産獎勵は當局も仲々熱心で其の効果も顯著に現る、然るにその出來た生産物を海路輸要地に運搬する方法は仲々つかない、ついても足らぬ、之れ朝鮮海運問題なる時局柄最も遅れ居ると思考する、又當局の施設が片東の完備を圖る感なかるべきを存するのである、此の鮮鐵滿鐵の統一が出來た此際、一日も早く朝上の缺陷を充すため朝鮮を基礎とする內地航路を開くやう努力せねばならぬ

朝鮮郵船會社長　原田金之祐氏

◈凝集努力の秋

之れに就ては郵船も大に調査しつゝあるが大に實行せんとしてゐる、實に朝鮮の各主要港と內地阪神間の定期航路は之れをどの點から見ても必要で急を要するのである、又北鮮と裏日本間の定期連絡も北朝鮮の開發上には無くてならぬものである、今回朝鮮で平壤丸を元山清津と敦賀間に往復させたるも聊さか將來の事を考へた仕事である要するに陸運たる鐵道の統一と併合とともに海運の內鮮連絡完備を急がねばならない、又政府では滿鮮鐵道の統一とゝもに關東都督府の官制に大改正を加へて所謂滿洲三頭政治の弊を除かんとし、又東洋拓殖會社の業務を滿蒙に擴大して其の拓殖を行はしめ更に內閣直屬に拓殖局を設け帝國拓殖行政の統一を期してゐる帝國政治經濟上の大革新期に際し政府の政治經濟上の滿鮮居住者は此の意のある所を考へ各其の分に應じ發奮し努力して行かなければならぬと思ふ

讀蘇峰詩草（一）
千山萬嶽樓主人

蘇峰學人は、今世の所謂詩人にあらず。學人の志は經世に在り。其文亦報國に在り。其詩に於ける、固より其の緒餘に過ぎずと雖も、今世詩人の步趨を趁はず、神情領會、天機流露、別に機杼を出し、談を摸し情を述ぶるの外に於て、一幅の骨頭あるに至りては、亦未だ嘗て獨步の地無くんばあらず。詩以て其の志を知るに足るべしとせば、學人の詩も亦徒作にあらず。學人、平生の文章報國を本領と爲す所。足を以て其の吟詠に發する所、一腔の熱誠を忘れざるの情あり。而して諷刺を寓する微に傳し、感慨を月旦の間に寄せ、意言外に溢るゝものあるに至りては、亦自ら騷雅の遺響を嗣ぐもの無くんばあらず。吾人云ふ、詩は天地の心也と。苟も能く學人の詩を咀嚼して之を翫味すれば、蘇峰草堂の句と雖も、以て學人の性情如何を知るを得べく、併せて時世を知るを得べし。

學人の詩は、專ら選材屈頸を主とせず、生動を能とせず、典故を重しとせず、其妙、物に隨て形を賦し、筆に信せて揮流し、一毫も矜心作意の處なきに在り。黃山谷にあらずして蘇東坡に在り。紅粉を塗らざるも自ら風流とは、蓋し學人の詩也。學人の詩の本色也。蘇峰詩草の妙境也。

『蘇峰詩草』の收むる所、二百首に滿たず、其詩、亦た七絕に止まれりと雖も、其作は、明治十四年より大正六年に至るまで、年次を逐て之を排列せるを以て、學人の志尙性情、及出處去就、其他の生活情態を窺ふに於て、一種の自叙傳と謂ふを得べし。而も況んや學人の長技は、古詩律體にあらずして、專ら二十八字に在るに於てをや。

體格韻調は水と鏡也。興象風神は月と花也。水澄み鏡朗かにして、花月徐々光華を發す。故に絕句の妙は興象玲瓏、風神超邁、迹の尋ぬべき無きに在り。吾人は『蘇峰詩草』を讀むに、語淺くして意愈々遠く、詞邇くして趣愈々遠きものなり。神詩を滿消の理に蓄へ、感慨を和平の聲に寓するものあり。工に意無くして工ならざる無きものあり。風骨內に含み、精氣外に隱れ、深厚餘りあり、優游迫らざるものあり。意、語中に盡き、意、言外に在るものあり。蓋し學人の胸中、千萬卷を蓄へ、古今を貫穿し、百態を牢籠す。是を以て、一旦其筆を下すや、雕琢を假らず、神來り境詣り『工を期せずして工なるもの。畢竟、詩に別才あり、別趣ありと云ふと雖も、平生絕落久しく、平生造詣の深きものにあらざれば、安ぞ此に至るを得ん哉。

然れども、其詩の工拙如何は、固より學人を輕重するに足らず。唯だ吾人が『蘇峰詩草』を讀で特に歎服措くこと能はざる所のものは、學人が操觚者として、朝に千言を草し、夕に萬言を草し、萬斛の詞源を經國濟民の問題に傾注しつゝあるに拘らず、綽々として餘裕を二十八字の中に存すること、是れ也。故に其の二十八字は、學人が經國濟民の緒に傾注したる熱血の餘瀝なり、熱涙の餘滴なり。而して其の經國濟民論の足らざる所を補ひ、又其の盡すこと能はざる所を盡し、餘音嫋々として絕ひざる纏綿の如き趣あるに至りては、是れ學人獨步の擅場にして、他人の倣ふこと能はざる所。又た他人の倣ひ得べき所にあらず。『蘇峰詩草』の妙境、茲に在りと謂はざる可からず。太史公の史記を編するや、論贊に於て、本傳の足らざる所を補ひ、寓意を此間に存す。人をして一唱三歎禁ずること能はざらしむるもの亦此に在らずんばあらず。『蘇峰詩草』も亦或る意味より云へば『蘇峯文選』と併讀し、是の如く觀るも亦可ならん。況んや其詩、清空雅遊、邀趣翩々、自ら一家の機杼を出し、千古に傳ふるに足るべきものあるに於てをや。

誰（25）
布施生譯

『おや駄目だ、こんなに後が堅くちや錠はつかないや』『銀行の金庫のはそれより堅いぜ。どうだ、金を盜んだ奴が慄く〳〵鍵を打當てた位では到底あんな錠はつきはしないせ』『成程』『阪は復讐つた』『こりや大變な力が無けりや駄目ですね』『そうだ、處で又何故大變な力が籠つたのだらう、僕は已は此問題を解くのに四五日と云ふもの頭を惱ました昨日になつて漸とそれが分つたのだ さあ之から已の說明を聞かせるから果してそれで可からうか、君も一所に考へてくれ』大探偵は席を立つて居間と寢室との境目の戶の傍まで往つた、そして右手に鍵を持つて阪に向ひ『阪、此處まで來たまへ、已の側に立つて、よし其處でよし、さあ可いかい、今已が此戶を開けやうとする、君は開けさせまいとするんだ可いかい、已が此鍵を鍵孔に宛がはうとする處を見たとしたら君は如何するね』『貴方の腕を掴んで引戾します』『そうだ其通り、さあやつて見給へ』大探偵と阪とは此立廻りの眞似をやつてみた、すると鍵は鍵孔を外れてから〳〵と激しう戶の表面を辿り左から右下へかけて明晰と丁度疵痕の創痕同樣な搔創をつけた『うむ、成程』『どうだい』『恐入りました、成程左樣か、いやもうあの場の樣子は眼でみるやうに分りました あの時あの場に居合はせたのは二人だ、一人が金庫を開けやうとする一人が留める、『そうだ〳〵分つた〳〵』阪が勇んで躍廻るのをみた大探偵は冷やかに『阪、又結論が早すぎるぞ、これは唯想像ぢや』『いゝえ、相違ありません、もう〳〵それに相違は無い』

…募集せし…を以て已に拂分比例を以て之れを分配し公募すべきは僅に一千株なるが此れ又電報、郵便等にて申込む…

…數は發信四千三百四十五通同着信六千九百六十四通中繼六千五百六十七通計一萬七千八百七十六通にして此の料金總計一千百十八圓五十七錢を…增加なりと…即ち一割六分餘を觀れる…に於ても四百二十餘圓の…

是れ！是れ最高能率を有し眞に理想的なパイン萬年筆を直ぐ御買ひなさい!!
◎大日本政府登錄 米國製正十四金『イリジューム』付ペン（責任保險付）
"PINE"

◎附言 パイン萬年ペンは自然の破損又不具合の節は滿一ヶ年間交換又無料修繕
完全なる設備と老練なる技術者に依 各種萬年筆即時修繕
堅牢無比
東京パイン萬年筆出張所
定價 …
發賣元 京城太平通一丁目 京城日報代理部 振替京城三〇〇番
陳列所 京城本町二丁目 ウツボヤ書店

千倍に稀したるアイセルを塵埃溜や下水に撒けば蠅や蚊の發生すること斷じてなし

朝鮮彙報

朝鮮彙報 大正六年八月號（定價貳拾五錢 郵稅二錢五厘）
主要目次
口繪 大邱の頒慶館、鬱陵島羅里洞の瀧、支那產麻布檢査の狀況、泗川郡の紫雲英栽培、堆肥切返狀況
□郵便局長海事出張所長に對する總督訓示
□道第一部長に對する總督訓示
□朝鮮水利組合令の制定に就て……宇佐美內務部長官
□松蛅蟖驅除法……村田陸軍獸醫正
□發電水力調査（承前）……遞信局
行政 朝鮮人の內地渡航狀況◎羅南の發展と其の市街計畫◎面吏員及篤行者選獎竝產業功勞者表彰◎江原道行政區域名稱一覽表
財政及金融 開港に於ける解船及牛馬車調査◎官鹽狀況附輸移入鹽◎大阪對朝鮮貿易◎五月中朝鮮經濟概況◎六月中朝鮮貿易
產業 春蠶豫想◎麥作豫想◎柿及栗の樹數竝收獲高◎テウセンカラマツ播種と傾斜床面の成方向◎クリ、クヌギ播種と被土に就て◎私營養苗事業の成績◎陸地棉共同販賣高◎黃海道、平安南道在來棉取引狀況◎大豆粒選實施成績◎大正五年改良農具普及狀況◎泗川郡紫雲英栽培に就て
交通及土木 遞信事業概況◎六月中の鐵道運輸
□朝鮮總督府に於ける教科書編纂事業の概要……小田編輯課長
學事 大正六年度本府主催教員講習會
司法及警察 監獄署務主任會同に於ける司法部長官訓示要領◎監獄教務主任會同に於ける司法部長官訓示要領◎朝鮮に於ける猛獸被害及其の豫防驅除◎狂犬病
□支那貨幣小史……今關囑託
□萬東廟の沿革……渡邊淺
研究資料 農社に就て
外國事情 朝鮮に於ける日本の施設
◎朝鮮の進步◎鴨綠江對岸支那領の近況
◈地方通信◈雜報◈敘任及辭令◈統計◈法令及通牒◈判決例
▲投稿を歡迎す 原稿締切期限每月十日
▲販賣店 朝鮮各地の書店にて販賣す
▲廣告料 一頁十圓 取扱店 京城 ウツボヤ書籍店

磯部法學博士閱 一森辯護士 五年間苦心の大著
法理詳說 判例參照 實例引用
債權者の法律顧問
類書中の白眉！
著者多年の經驗と五年の歲月を費し金錢貸借抵當質買讓渡其他一般の債權物件の諸問題及實際上の離事件に際會せる場合の解決案『債權安全策』權利入權上の秘を詳述するに法理を詳說し判例を參照し事實の奧を明示せし一讀直に會得し應用し得る秘策を公開せる本書を座右せば妙案奇策湧くが如く悉く活用し得。
本書一冊あらば敏腕なる辯護士公證人代書人を雇ひ置くに勝る。約千頁七十餘萬字は一字一句皆活きて働らく實用本位の活文字。
本書の內容は…
大判布製函入美本 定價金二圓三十錢
特價部限壹千部 壹圓八拾錢 送料金十二錢
殘部僅少 直に申込まれよ 約千頁の大冊僅に一圓八十錢
賣捌所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

●宣戰案發表延期か
某國交渉を開始す

支那の對獨宣戰は六日發表の豫定なるも某國は此通知を受くると同時に目下或る交渉を進め居れるのみならず某國は六日中に回答し難き事情あるを以て之が爲め宣戰案の發表も或は遲延するに至るべし去れど如何に遲くとも其の發表が十日を過ぐる事はなかるべしと觀測されつゝあり(北京特電)

●墺太利軍の進入

墺太利軍は露國内ツエルノウイツツに進入したり(倫敦電報)

●獨逸潛航艇の蠻行

獨逸潛航艇は七月三十一日ベルジアンプリンス號の乘組員三十八名を捕虜とし救命器を脫離して潛航艇の甲板上に整列せしめたる儘潛航し彼等を溺死せしめたり(紐育電報)

●吉長線借款改訂問題
段政府應諾か

日支合辦事業たる吉長鐵道に對する借款契約改訂は嚢に支那政府の同意を得たるも同國政變の爲め解決遲延し居たるを以て最近帝國政府は同問題解決を要求する處あり段政府も之れに應ずべしと觀測さる(東京特電)

●明年豫算編成期

大藏省にては大正七年度各省豫算概算書の回附を俟つて其審議に著手すべく遲くも十月下旬迄には全部の編成を見るべし(東京特電)

●准尉入校式期

各師團より選拔せる准尉候補者の入校式は十月陸軍士官學校に於て舉行するべし(東京特電)

●鐵道院と炭坑

鐵道院にては燃料自給策として自ら炭坑を經營するの計畫ありと傳へらる(東京電報)

●新設されし陸軍の一階級
准尉設定の趣旨

‖最近勅令を以て設置の旨公布せられたる陸軍准尉に關し某陸軍將校は語つて曰く‖

陸軍では今回准尉の官制を設けて下士中より成績良好の者を選拔し從來の少、中尉の執つて居た仕務に當らせることになつた、本官制 ▲設定の本旨 は勳功ある老兵を優遇すると同時に將校の人員を減ずるに在る、海軍では已に兵曹長の階級を設けて下士卒優遇の途を開いて居るにも拘らず陸軍では今日まで此の制度が無かつた無論戰時に於ては特務曹長から少尉に進む者は澤山にあるが平時に在つては其れが出來ない、此の缺陷を補ふ爲めに設けられたのが今回發布の官制で之が得失に關しては種々議論もあつたやうであるけれども已に確定して實施さるゝ今日となつては別に兎や角言ふ可きでは無い、併し此の新制度に依つて ▲下士は上進 の路が開けると共に將校の方でも從來に比して人員が減少する結果は之れ亦上進が早くなるので六年も七年もの長い間中尉や大尉で居なくとも相當の年月を經れば佐官に進み得ることゝなるから双方に取つて好都合である准尉は長らく軍隊の實生活を送つて居るだけに技術の熟練といふ點に於ては申分ないが頭腦が古く且將校としての教育期間が極めて短時日に過ぎないので ▲學識に於て 不足する所あるを免れないされば學術上の訓練には充分なる教育を受けた將校を必要とするが技術上の熟練には准尉の方が適當であらうと思ふ此の兩者が長短相補つて軍隊訓育の任に當れば其の結果は必らずや從來に比し優良なるものあるを疑はない

觀瀾亭雜俎
蘇峰生

○師の惡癖に倣ふ者は、是れ良門人ならず。而して兎角其の惡癖に倣ふの傾向あるは、何れの門人も、概ね然らざるはなし。

○吾邦にて獨逸臭味にかぶれたる者は、其の不眠不休の勤勉と、其の周到、徹底の研究と、其の綱擧、目張の組織とを學ばずして、却て其の唯物的武斷主義や、以巳將他的の心理的錯誤や、抑も亦た自分免許の大天狗と傚り濟まし、爲めに我が帝國をして、列國指彈の標的たらしめ。所謂る世界に於ける、總すかんの本家本元たらしむるものなしとせず。

○將た英國流の學者は、其の世界を狹しとする抱負や、其の六合を家とする規模や、其の日に損して、月に得し、月に損して、年に得する遠大の經綸や、其の形式を擺脫して、直ちに中心に達する、無礙の常識やを閑却し。徒らに冊中講大學的の態度や、假道學的口吻やを、模せんとする優孟衣冠者流あり。是亦た善く學ばざる者と云ふ可し。

○其の米國流儀を趁ふ者は、米人の活潑々地の精神や、何事をも世界第一を期する、努力と自信や、日に新にして自から止まるを欲せざる、勇往敢爲の氣象やを學ばずして、却て其の淺薄、輕易、俗惡、佻儇と、黃金萬能とを以て、自から擬米人たらんとする者あり。是等は皆な先生の嘲褻のみを學び、醉狂のみを學ぶ底の、惡弟子の類のみ。

××××××

○予恒に維新以前に生れ、驚天動地の活劇を、目擊する能はざるを憾む。又た其生の晩くして、西郷、木戸、大久保等の諸英雄を見る能はざるを憾む。然も何ぞ自から幸とするものゝ二にして足らざる也。

○記者や幸にして、明治天皇の最も光明ある御宇に成長し、草莽の一民として、聖澤に浴するの恩寵を忝くせり。而して之れと同時に、維新の風雲に際會したる、勝海舟先生の如き、若しくは薩長諸元勳の如き、倘ほ其の若干を知るに及べり。

○更らに愉快なるは、籍を新聞記者に措き、日清、日露の兩役に際會したる事也。回顧僅かに二十餘年に過ぎざるも、恍として隔世の感あり。

○然も更らに最も記者をして、幸福を覺えしむるものあり。そは未だ教育制度の、制定せられざる以前に於て、就學したる一事也。記者や幼にして私塾に學び、遂ひに所謂る小學、中學、大學等の門戶を潜らざりし也。記者は我が子弟の現狀を見て、自から生の早かりしを喜ぶを禁ずる能はず。誤解する勿れ、記者必らずしも現在の教育制度に、反對するにあらず。但だ記者自から顧みて、天禀の野性、到底此の如き緻密なる、網細工の裡に入り得る資格なきを知れば也。然も是皆な記者の空想のみ。

◎大戰の前途は露國の運命次第
聯合軍側の弱點は露國に在る

某陸軍將校は最近歐洲の戰況につき語つて曰く西方戰場に於ては大體に於て變化なきもツエルグン方面クラオンに對して猛烈に敢行せる獨皇太子軍の襲擊は多大の死傷者を生じ無殘なる敗亡を以て終りたり獨軍は現在の戰線より更に後方の ▲陣地を撤退 せむと欲するもの、如く佛軍の追擊を避け其の退却を安全に擁護せん爲め重要なる地點の古佃を欲したる之れ同地襲擊の目的なりしが如し伊墺方面は全く變化なく巴爾幹方面に於ては聯合軍の形勢尙ほ樂觀を許さゞるものあり然るに英軍はメソポタミヤ方面の危機迫れりとて巴爾幹より小亞細亞に兵力を分割せむとしたる爲め忽ち協商國の反對する所となりて之を中止するに至りたるが聯合軍は近く希臘軍際二十五萬の召集を行ひ完成の上は北方に ▲攻勢を開始 するに至らむ東方戰場に於てはガリシヤ方面に於て露軍四萬の捕虜を獲たりと稱するも之等は露國と同人種の墺國人が戰はずして降服したるものにして兩者の間には激戰等は全く之れ無かりしが如く四五萬の捕虜ありと言へば死傷者は二十萬以上に達するを常とすれど斯る事實は更に無し而して露軍が羅馬尼方面より七個師團白佛方面より四個師團の兵力を移して攻勢に轉ずるや一と溜りも無く敗走し又 ▲戰ふの氣力 なきが如し若し獨軍にしてリガ方面より東北首都に向つて猛進せんか露軍の之れを防禦すること頗る困難を極む可きも獨軍亦非常に疲勞困憊せるを以て敢て前進する能はざるに似たり然れども歐洲戰場の弱點が露國に在るは今や又疑ふ可らざる所にして大戰の前途は露國の運命如何に依りて決せらるゝものと言ふ可し

●全北棉作豫想

全北道の棉作につき當局者は曰く本年は播種當時の天候不良なりし爲め折角作付の增加及び指導の宜しきを期しつゝあるも生育良好ならず或は前年の水害に於ける減收より倘甚しき事なきかと懸念し居れり而して移植期に於ける天候不順は自然生育良好ならず從つて開絮も多少遲延し漸く昨今に至りて漸次之が開絮を見るに至りつゝありと

●迎日水利近況

撥水機に故障を生じ本年の稻作は移植の收穫皆無に終らんと傳へられたる慶北迎日水利組合の近況につき同組合員は語つて曰く區域内の灌漑豫定反別千四百町歩の内從來の水田は四百三十町歩にして昨年水利組合の爲に新田に變せしもの百十町歩是に本年田に化して補付を了せる三百町歩を合し計八百町歩は各地主が掘を掘りて天水を貯へ若しくは井戸を掘りて汲上給水しつゝあれば龜裂を生じ枯死する如き事萬々無かる可きも内數十町歩は降雨なき限り給水の途講じ難き見込なり然し一兩日中には左岸の揚水工事竣成給水の運びに至る可く又數日を出でずして右岸の揚水機亦完成通水の筈なれば結局本年作の收穫は無事に非ざる可し但し造田部分(七月末)數十町は收穫減少するならんが收穫絕無の憂は毫も非ざる可し又本年は一般に水田の有利なる事を認めて陸田若しくば荒田を除くの外は進んで水田に變更せんとする傾向ありしが不慮の災害突發せるは遺憾なりき若し此災厄無かりせば優に千町歩の灌漑は遂げ得たりしならん

●紡織場決定期

朝鮮紡織會社は此の程愈々許可されたるが工場敷地は願書に未定の儘なりしを以て許可に際し『工場敷地は設立許可の日より三十日以内に決し届出づべし』との條件を附しありしと云へば確定的の報道を發表するは茲四週間を出でざるべしと(京城)

●京城辯護士會
役員の選擧

京城地方法院管轄にては從來内地人側を第一朝鮮人側を第二と稱する二個の辯護士會ありしを先頃合併し七月一日總會を開き役員選擧を行ひ之れが就任に就き其筋に申請する所ありしが八月二日不認可となりたるに依り更に役員再選の爲め八月五日午後一時より京城ホテルに總會を開き京城地方法院より郷津檢事正も臨席し役員の選擧を行ひたる結果左記の諸氏當選せり

▲會長 大久保雅彦 ▲副會長 劉文煥 ▲常議員 高橋章之助、加古貞太郎、赤尾虎吉、星田正一郎、崔鎭、張燾、申宇永、金思濂、黄檄秀、權赫采、中村時章、岩田仲宗

右選擧の結果臨席の郷津檢事正に認可を申請せし處直に許可ありたり

●馬山各月貿易

馬山港七月中の貿易の概況を聞くに輸移出入總計五萬餘圓なるが前月に比し約三萬圓の減退を見たりと雖も之れを更に前年當月に比すれば少なからざる增加を見たり尤も前年の昨今は降雨甚だしく出水に次ぐに出水を以てし地方農の疲弊著しく爲めに購買力の減殺せられたる結果にして寧ろ例外と云ふべく當月の前月に比し稍々不振を招ける所以の因つて來る所を察するに六月中輸移出の貿易は近年稀なる盛況を見たるを以て幾分其影響を蒙れると且つは諸物價暴騰の結果商人の手控へたるによるものにして殊に大阪商船の入港を見ざりしは一大原因なりといふ

●全南旱害狀況

全羅南道中光陽方面の旱害狀況を聞くに高地の畓は殆んど全部龜裂を生じ苗代の儘植付不能のもの約百五十町に達し向ふ一週間内に降雨なき時は殆んど無收穫に歸すべきも此の他を除きて旱害地の三分の二以上は今尚ほ水を灌へ發育良好なり倘畑作は全面積の殆んど半枯死の情態に在り目下荒蕪地に井戸を掘鑿し應急灌水の手段を講じつゝありと

●大邱穀物發著狀況

七月中慶尙北道穀物改良組合の調査に係る大邱驛貨物取扱所を經たる穀物發著數量は左の如し

種目	發送	種目	到著
玄米	一、七四一叭	玄米	三五二叭
精米	四四六	精米	七七〇
糯米	一二六	大豆	三三六
小麥	一、二九〇	小麥	一三〇
粟	九〇	粟	二七〇
小豆	五六	綠豆	二三八
計	三、七五〇	計	二、〇九六

口大阪だより

▲住宅料增給決行

大阪各區長は市長の諮問に對し市立小學校補習學校裁縫學校教員並に幼稚園保姆全部住宅料增額の件に付き會議の結果增額方を答申したるが市當局者は現狀に鑑み右決定通り即ち市内居住校長七圓正教員五圓補助教員四圓市外居住者校長五圓正教員三圓補助教員二圓を愈一日より支給實施すべく發表せり倘此の增額によりて一ヶ年の總經費は約六萬圓に達し本年度は結局四萬圓の支出增加となる計算なりと

▲帝國冷藏增資

減資後成蹟良好を示せる帝國冷藏會社は今回減資前の百五十萬圓に復舊すべく近く大株主會を開催し決定の筈なるが增資の支途は東京越前堀の新設工場及び倉庫の建築費に充當せらるべく倘ほ同會社は增資下準備の爲め拂込殘額五圓を八月二十五日の期限を以て拂込ましむ可く既に通知を發したり

▲東清値上商議

東清鐵道の運賃引上に就き鐵道院運輸局長より商船に宛て照會ありたるが該電文の主意は運賃引上は穀物に限り東行四割西行十割となすべき旨東清支社より滿鐵へ通牒あり滿鐵は之に對し異議を述べ置きたる趣なれば本院にても一應抗議すべしと云ふにありしが續いて二日午後東清及び義勇の引上運賃決定の件は委員會議を開き協議すべき希望なり貴社にして之に同意ならば東清に對し運賃引上に對する意見は文書を以てしては徹底し難きにより極東に於て委員會議を開催の上協定したく就ては會議の場所期日を通知さるゝ樣打電されたし尤も委員會議には別に委員を差遣せず滿鐵に依頼するも可なりとの照電あり商船にては別に異議無きを以て然るべき措置を採られたき旨返電を發せり

▲不渡手形增加

大阪商業會議所の調査によれば七月中の全國不渡手形は八十枚にして其金額四萬三千三百四十九圓四十七錢なり之を前月に比すれば枚數に於て四枚金額に於て一萬八千三百四十六圓三十九錢の增加なり(大阪支局)

	枚數	金額
大阪	九	四、六八四、五二
東京	二七	九、八三七、三九
橫濱	七	一、〇二一、〇〇
京都	五	一、〇三二、〇〇
神戶	三	二、三二三、〇〇
名古屋	二〇	一、三〇六、〇〇
廣島	—	—
門司	二	七、五〇〇
仙臺	—	—
合計	八〇	四三、三四九、四七
前月(?)	六九(?)	[illegible]
前年同月(?)	六一八(?)	一七五、九三七、五六(?)

人事

▲白井水找氏(辯護士) 五日入京龍山日本館へ
▲加藤鎭吉郎氏(鴨江日報社長) 五日夜入京不知火へ

南言北語

歐洲大戰の終局に就ては未だ何とも云へぬ▲併し乍ら戰爭は未だ最中だが戰鬪は下火になつた▲イヤ下火と云ふよりも駄目た▲先づ見給へ聯合側でも獨墺でも既に舞臺は外交に這入つて居る▲一兵を動かすにも和局を氣構への懸引から出る▲獨逸軍に然り英佛にも亦其氣分が充分に見ゆる▲露西亞は内に大事があるから外を顧みるの遑が無い▲聯合側が戰鬪上露を頼みとせざるは勿論獨墺も進んで露兵を討たぬのは事實である▲獨墺の疲憊は豫想以上であるが此の事實を大局と照合せば蓋し思ひ半に過ぐるものがあらうと▲某戰爭通は語つて居たが成る程其う考へると大分通中した批評らしく思はるゝ▲內地では成金連が所々に避暑して怎麼して金は使はうかなど飛でもない事を考へて▲馬鹿氣た豪遊や小供みたいな事をして無益に金を湯水の樣に使つて喜んで居るらしい▲流石の大喰侯も之れには大分當てられたと見えて安價な銀時計を胸にぶら下げ▲成金などは銀薄なものである時計は側の金銀に拘らず時間を指すんであるんである▲と例の式を發揮して居るとは愉快な爺さんだ▲愉快と云へば三浦觀樹老人避暑中の熱海で一日圍碁會を開いた▲案内を受けた人々は熱海警察署長や石渡前町長や温泉宿の主人等十餘人▲何れも老人にしてやられたので一同舌を巻いて引き下つた▲來客ある每に老人鼻をヒコつかせ乍ら此の邊のは矢ッ張り大ざるでなと得意滿面▲或人が之れはチト怪しいと探つて見ると▲お招きを受けた連中は何れも老人には二目乃至三目位置く手合せ許りと知れて大笑ひ

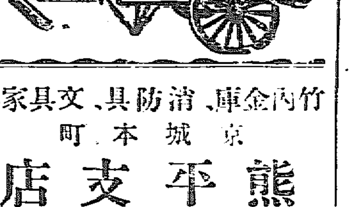
●問題の人 西原氏曰く

支那の目的は從來の借款には或は利權を得て之に應ずる[illegible]概し潔白なる借款を起さ[illegible]せるは遺憾なり是等は譯の分ら[illegible]の言葉なれば予は深く之を咎[illegible]にならざるか政治[illegible]

去月廿八日北京を出發せし其夜獨[illegible]に味方せる支那陸軍將校を逮捕[illegible]あるも全く虛構の事なるは斷言し[illegible]雙方の兵士銃を[illegible]

光州
▲郡主任會議 全南[illegible]早朝光州發同午後夜南大門著の豫定 本月二日長城、潭陽、靈岩、高興、靈光、咸平、康津、任實、海南の九[illegible]
[illegible]所謂かるべしと▲米禮餅の不漁[illegible]本年は[illegible]

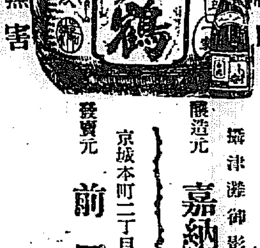
久留島武彦先生著 盛夏家庭の好讀物
お伽小槌
四六判極美本四百四十頁美麗石版四葉入●定價金壹圓五拾錢郵稅十錢
お伽界の第一人者久留島先生が、最近二年間各地にお伽旅行を試み到る處の少年少女の喝采を博したお話八篇を[illegible]家庭にお薦めいたします。
久留島 お伽講壇 四六判極美本 四版美麗石版十一葉 定價一圓 郵稅八錢 (文部省通俗教育圖書に認定さる)
東京神田 富山房 振替五一〇

全鮮消防組御用
消防組を設立せんとするならば先づ熊平へ照會せられよ

竹內金庫、消防具、文具家具
京城本町
熊平支店
電話二六四番 振替京城二二番

資本金參百萬圓
明治三十六年八月十二日設立
當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城府南大門通一丁目十四番地
株式會社 漢城銀行
長 男爵 李允用
專務取締役 韓相龍
電話 六四六番 二三九番 一八六二番 振替京城二〇五番
支店所在地 水原、平壤、大田、開城
出張所所在地 南大門、鍾路、東幕

朝鮮總督府法定消毒藥
アイゼル液
無比の防臭作用と殺虫力を併有す
京城 井上藥品部

眼科專門
京城本町四丁目カルス温泉横(電一五五六)
日曜祭日午時中
金井眼科醫院
金井豐七

大日本優等清酒 ハクツル
品質純良 衞生無害

醸造元 攝津灘御影町 嘉納合名會社
發賣元 京城本町二丁目廿番地 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五番

東洋汽船西伯利亞丸にて元京城共…會社支配人西原龜三氏來れり氏は語りて曰く予は何等寺內首相及び內閣より信認狀紹介狀等を貰ひしことな…して渡支し美事五百萬圓の共…際的に非さる證據は天津上海等の各銀…せり之れに對し惡政派の者…失が之を資金として兌換を開かせるは…を付け何か政治的借款を爲せ…を迎るも明かなり今後亦此方法にてるが如…面解し途に予の爲めに問題借款に應ずることゝなるべし予は…記憶し貰ひ度は張勳の復辟は…ること…り金を用立てし結果たるも南…信員其他に…べしと信ず支那通亦獨逸の後援あるを忘るべか…報道は十中九まで信ぜられず遺憾至らず寺內內閣が段派を庇護云々の說極なり（長崎より）

監律兵務部長…任期　京畿道警務部長に榮轉したる監律大佐は來る七日…

▲法院出張所開所　光州法院にては…たるが之にて十日より不動產登記事務開始の筈之にて本道內の郡廳にて登記事務を取扱ふは濟州島珍島寳城順天の四郡のみにて…

…唯一の副業を失ひ大いに狼狽して郡當局へ鮎の不漁の理由調査方を…申請し來れりと

●朝鮮の山　見る度に濃厚を加へて

朝鮮に於ける溫帶山林の研究　金剛山を日本三景に加へたい

東北大學敎授　小出林學博士談

三日朝入京長沙洞妙心寺別院の金剛後樂院に滯在中の東北大學敎授小出林學博士を訪へば同博士は打解けたる態度にて語りて曰く

予が朝鮮に來たのは大正二年頃から今度で四度目である今度來たのも全南茂朱にある我大學の演習林の視察が主重な用務である。尙南滿鐵道會社から大正三年頃から依囑されてる

▽滿洲の山林狀態に就いて打合せの用務もあり滿洲にも一寸往くなにして居る。序に思ひ出したのは金剛山が餘り有名だから今度小出も往たのを幸に一寸見て來たいと思ふ。近頃內地の某雜誌で新日本三景を懸賞で募集して居るそれは從來の日本三景は小日本時代の三景として申分無いが世界的に膨脹しつゝある大日本としては別により以上の三景を見出されねばならぬと云ふのであるが我金剛山も其候補地となつて居つたやうだ

▽結局富士を中心こせる三保の松原一帶の景色が一等で、耶馬溪が二等で、北海道の駒ケ嶽一帶の景色が三等であつたと記憶して居る何しろ評判の通りであれば金剛山は其首位に當選さるゝ資格を以て居ると思はるゝが其の選に入つて居なかつたのは多くの內地人間にまだ金剛山が普く紹介されて居らぬ爲めであらう。今度菊池幽芳氏なども大阪毎日に詳しく報道して居るやうだし其他

▽美術家や文學家に依つて漸次紹介されることになつたのは誠に結構である。我大學の演習林を朝鮮に設けた譯は山林の如き應用科學は机上の學問や議論ばかりでは徹底しない實地に就て大に研究と演習とを要する。それで我大學では北海道にも滿洲にも演習林を設けてある朝鮮は溫帶であるから溫帶山林の研究が其重なる目的で…演習林は一道二郡に跨り…を中心とする約一萬町步の大山林で大正二年度から其經營を進めて居るがまだ理想通りの成績を擧げ往かねばならぬけれども將來は面白い演習林が出來ることゝ思ふ

▽予は十五六年前に…が十四五年…の山の荒廢せる有樣が朝鮮の數年前と全く同一で朝鮮に初めて來た時其の山容の荒凉たるを見て國家の盛衰は其國の山搭が立派に證明して居ると思つて轉た感慨に堪へなかつたこともあつた。來る度每に山の色は漸次濃くなつて往きつゝある是れ全く總督の銳意獎勵せる結果と謂はねばならぬ。今度朝鮮に來て

▽一番發達したこ思つたのは自動車である是れ我が演習林の邊にまでも往くやうになつた是れ道路改築の賜物であらうと思ふが只だ一つ困るのは河川の整理がまだ出來ないので橋梁が不完全で折角架けた橋梁も直ぐ落ちて了ふと云ふ有樣で便利な自動車も此處では降りればならぬ。朝鮮に於て最も急務は山林の整理である山林の整理が出來れば河川の整理も出來る。河川の整理が出來れば田地の面積も倍程増大するであらう。世間の旅行者は滿洲の奧には大山林があるに相違ないと言つて居るが其噂を聞いて來たばかりのことで根據がない。南滿鐵道會社では…

▽夙に之が調査を始め予は其依囑を受けて居つたが今度其調査の報告書が纒つて其大體的に山林の狀態が明かに成つたから今度之を發表しやうと思つて居る。滿洲山林は兎に角大きい吉林省だけでも北海道の約二倍はある見込だ。此に就いて南滿鐵道と打合せして近く發行したいと思つて居る

●賊は薩摩の守　岡山縣小田郡笠岡町藤井健三（四三）は…

蟬時雨るゝ
倭城臺公園にて

明科一犯あり七月中釜山敷商所にて窃盜を働きて逮捕されて取調べの結果仁川京城を徘徊して小泥棒を働き昨年十一月廿七日頃まで京城附近を徘徊し大田に行き…かんと思ひ立ち水原驛より他の乘客に紛れて汽車に乘り込み汽車が大田驛に指しかゝり徐行するや進行中の列車より飛び降りて姿を隱し大田にて紛れ込み此處にても旅宿を踏み倒し本年七月初め釜山に流れ込みたるものにて九日釜山地方法院の公判に附せらるべしと

●五百餘圓在中の赤行嚢紛失す

七月廿八日朝鄕南陽丸は羅老島より同郵便所差立て木浦郵便局宛十圓札のみにて五百六十圓入りの赤行嚢を輸送し木浦局へ引渡しの際在中金の紛失せる事を發見し大いに狼狽し目下沿海各警察隊に於て取調中なるが如何にして紛失せしものか更に不明なりと（光州）

●大金強奪の賊

去る七月廿日木浦富豪張東植方へ押入りたる數名の強盜あり兇器を閃めかして一千圓を強奪せしかば木浦署に於て犯人嚴探中途に二十七日に至り木浦竹洞居住金文三（四六）二十八日務安居住朴仁守（三十）を逮捕し其自白に依り引續き共犯者四名を檢擧せしが犯人等は竹製の拳銃其他數點及び贓金數百圓を所持せるを發見し目下引續き取調中

●本夫を殺さんとす

京畿道開城郡進鳳面炭洞里金致淑妻朴氏（二）は同里の若者三名に關係を結び豫てより夫致淑を嫌ひ同人を亡き者にせんと大正五年十二月六日夜致淑の熟睡中を見澄まし麻繩を首に捲きつけて絞殺せんとしたるも目醒めたる致淑に反抗されて遂に目的を遂せざりし一件は關係したりといふ若者三名と共に京城地方法院の豫審に附せられ久しく取調べの結果三名は證憑不充分の爲め免訴放免されしが朴氏は殺人未遂として同法院の公判に附せられたり

●又も漢江の溺死

京城府內旭町二丁目京城印刷所居住竹村澄三郎（二）は五日恰かも日曜日の事とて正午頃龍山に赴き漢江鐵橋下にて水泳中行衛不明となりしとの報に接し龍山憲兵分隊にては直ちに警備艇を出して搜索せし結果漸く屍體を發見せしも死後既に一二時間を經過せる事とて手當を加へたるも遂に蘇生せず仍て屍體發見の場所は漢江左岸にて永登浦署管內なるを以て屍體を永登浦署に引渡したり溺死の原因は多分心臟痲痺ならんと

●日吉丸の座礁

鎭南浦三和町中村組所有汽船日吉丸（一四七六噸）は去月三十日鑛石二千九百噸を積載し上海を發し鎭南浦を經て八幡に向ひ二日午後零時半頃若松港內に入り水上署前を通過せんとする際舷側に帆船二隻ありしより逆航せんとして戸畑一文字沖合に座礁したるも同日午後七時頃浮上り無事八幡港へ入りたり同船は乘組員三十六名船長は深園末吉氏なりと（門司）

●新喞筒の試驗

五日全州多佳公園に於て全州消防組合の新規購入に係る蒸汽ポンプの試驗を行ひたるが成績頗る良好なりき（全州特電）

●井戸に墜つ

龍山元町三丁目百二十六番地白樂根長男點男（九）は四日午後四時過つて淸水町の井戸と墜ち溺死せり

●防水布を種に

近來京城市中を紹の羽織を着せる年齡四十歲位の紳士體の男が東京東洋合資會社製品スターと記せる小形の洗濯石鹼類似樣の物を携へて各戸を訪問し之れは防水布製造用の原料なりと稱し家人の眼前にて件のスターと同樣にて實質の異れる別個のものを使用して卽座に防水布を調製して見せ然る上效力なき方のスターを賣込むといふ手段を弄し最近龍山にて此の手に罹り數十圓を騙取されたるものあり目下其の筋にて手配中なりと

●賭博から強奪

咸南新興郡元平面西里居住李道益（二）は先月二十四日午前十時頃より同面南里尹致賢方に於て朱炳彝と賭博を開張して七十五圓を負けたるより腹立ち紛れに相手を散々毆打したる上所持金百九圓を強奪したるより檢擧され咸興地方法院の公判に附せらる

●又も雜貨屋調べ

京城本町署にては五日午前九時より正午迄管內各派出所にて先頃執行したる食料雜貨度量衡器等の任意檢查を施行せり

●乞食浮浪者取締

大正六年上半期間に於ける京畿道管內に於ける乞丐浮浪者取締狀況を聞くに男二千五百零三人女三百六十二人計二千八百六十五人なるが右の內原籍地に歸還せしめたるもの一千四百二十三人正業に就かしめたるもの百七十七人親族故舊に引渡したるもの五十九人救護團等に引渡したるもの十七人其他九百二十七人處罰に附したるは百七十七人なりと

●南齋百畫會

既報の如く松本南齋氏の作品を集めたる南齋百畫會は五日午前九時より花月に開會したるが出品點數は八十九點にして午後七時までに全部賣切れとなり再び揮毫註文十數點に達する盛況なりし

水泳場通信（2）

▽—名殘惜しげに水を離れて—△
▽—諸所に始まる蚊の脛角力の技倆
砂風呂先生生き埋めの事—△

◆水にはいつてから二十分ほど經つと、陸上見張の先生が、停車場の五分鈴のやうなものを振り鳴らすと陸に近い方にゐる者が、素早く聞きつけて『オオイ上がるンだゾウー』と喚びてる。これに應じて『オオイー』と叫びながら、地曳網に引き摺られる魚のやうに、名殘惜しさうに泳ぎをやめて、ボチャ〱と水音を立てながら陸に揚がつてくる。

◆一同が上がつてしまうと各年級の點呼があつて暫らく休憩する事となる。この休憩中こそスケッチ子のために漫畫の材料が最も多く提供されるときである。あちこちを見渡してゐると突然、一年生らしい一人が褌ツ樣に六尺褌を締めてゐるのを、いゝことにして『ガーイ、誰か角力を取る者は無いかアい』と兩手を擧げ放たれた鳥のやうに水中へ急いで立ち上がりながら砂の中に蹠を突込んで四股を踏めば拳を突き込み尻を上げて仔細らしく走りながら川原に大きな字を書いてゐる者や、波打ち際で水の掛け合ひをしてゐる者が『やるぞ、やるぞ』と集まつて來た。

◆するとその中の一人が四ツ這ひになつて一つの圓を描くと、それを土俵として、忽ち奇々妙々な蚊の脛角力が始まる。朝鮮の山のやうに、赤い河童力士が、十俵を繞つて、俺れが出る我れが出ると、花角力の五人抜きみたやうに、先きを爭つて飛び出すので、容易に取組めない。そこで業を煮やした一團が『オイ皆こつちへ來ウイ』と他の場所に土俵を急造してやりだす。

◆さうかと思ふと、五年生だか敎員養成所の生徒だか知らないが、大分鼻の下の黑くなつたのが、角力の連中を冷やかに見て長い軀を、渚のそばの濕つた砂の中に埋め仰向けになつて砂風呂の眞似をしてゐると、近所にゐた大茶目小茶目が、直ぐにこれを見つけて非常の奇蹟でも發見したやうに『ヤア面白いぞ〱』と口々に囃しながら集まつて來て忽ちに之れを取卷く。

◆こんな場合、なにかいたづらをしてみなくては、虫の納まらないらしい一人が足の方に座り込んで砂をかけ始めると、今まで土左衛門でも見るやうな顏をして立つてゐた一同が我れも〱とべタ〱腰を下ろして自分の身體の周りの砂を掴んでは足と言はず腹と言はず胸から咽喉へ迄まで所嫌はず盛りかけるいつまでもほつておけば人間の生埋めが出來さうだ。砂風呂先生は、始めの內こそ得道悟入した禪坊主が、無我の境に入つた時のやうな平氣な顏をしてゐたが足から手へ、腹から胸へと、次第に上のほうへ上がつてくるので先生些か驚いたと見えて『オイ顏へ掛けちや可かんぞ』と目をパチクチしながら弱い音を吐く。

◆そんな事には更に頓着無しに『南無阿彌陀佛〱』と念佛を唱へたり『顏は一番あとから埋めてやるぞ』なんかと脅かしたりして、到頭四尺餘りの土頭饅を築き上げてしまつた。

◆そうしおいて、その上に乘つてウン〱と壓へつけるかと思ふと、頭の方に廻つて頭を持ち上げ、その下に砂を盛つて枕を拵らへて喜ぶ者もある。こんな事をして興じ合つてる內に時間が來ると、振鈴を合圖に集合して屈伸體操や柔軟體操やをやり、四肢關節の運動が充分になると、亦して放たれた鶴のやうに水の中に急いで這入つてゆくのである（西氷庫にて△△）

京日案內

普通一回前金五十錢　番外一回前金（假名一週間に拾錢增し）
▲申込後中途にて揭載中止の節は料金返戻せず ▲六圓以上の御申込は特に割引 ▲御照會は返信附にあらざれば回答せず ▲御照會の節は必ず數字の番號御記入をこ

普通

●女優及見習生至急入用　見習中食費支給す本人直談　永樂町金光敎會北入　いづみ演藝劇衣裳部

●官吏向貸家　六疊四疊半二疊玄關有瓦斯電燈水道設備眺望風通最良　旭町二丁目八十番地（少し高臺）373

●見習看護婦入用　南大門通り農銀裏　司生堂醫院　電話三〇六五

番外

鑛物定量分拆　明治町二ノ七六（電話二七七一番）江戸川橋入　田部分析所　314

恩給年金月給立替　一分何年分でも特別御便利に御相談可致候　京城若草町一百六　電話三〇一一番　西村商會　303

古ミシン高價買入　電話又はハガキにて御一報次第參上　京城鍾路二丁目パゴダ公園近　電話二三三八番　楠商店　249

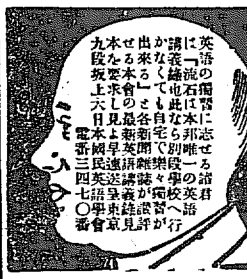
店員募集　身體強壯にして斯業に經驗ある者十五六歲より廿五歲迄三名を募集す希望者は履歷書を添附ありたし　江原春川邑內大和屋吳服店　田中定吉

古機械古鐵金物買入（店員入用廿五歲以上四十歲迄本人來談）コロタイプ印刷機械四台賣物あり　京城旭町一　電話二〇七〇　天野金治郎　377

花柳病專門　外科
◉梅毒◉淋病◉泌尿生殖器病◉睪丸病◉肛門病◉皮膚病◉婦人病◉神經衰弱ヒステリー
京城南大門通農工銀行裏　司生堂醫院　電話三〇六五番

賛化病院　京城本町二丁目　電話二四二番
醫學博士　古城憲治
醫學士　上野亮藏
內科　小兒科　入院隨意　無料施療す　毎日五名を限り

中風（腦溢血）半身麻痺不隨症　せきづい病
右患者自宅療法は多年此種病症自療法專攻の京都粟田御門內川崎自療法研究所宛病名記入申込次第無料回答


英語の獨習に志せる諸君は「流石は本邦唯一の英語講義錄也此なら別段學校へ行かなくても自宅で樂々獨習が出來る」と各新聞雜誌が激賞せる本會の最新英語講義錄見本を要求し見よ早速送呈　東京九段坂上　大日本國民英語學會　電話番三四七〇番

外科　一般花柳病科
內科　一般皮膚病科
普通及隔離病室完備　診察夜九時迄
京城旭町一丁目（本通り左に入る）島崎病院　電話二七三六番

プロテアーゼ
蛋白　澱粉　脂肪　消化劑
本品は東京帝國農科大學 三宅理學博士 の最新發見に係る一種のエンチームにして
蛋白質に對し最も強度の消化力を有す……從來本邦に於ける消化劑は主として澱粉質にのみ有効にして蛋白質には未だ理想的のものなく實に本品を以て第一となす……加ふるに本品は
澱粉質に對しても其消化力諸種のヂヤスターゼに優り尙脂肪分解作用をも兼有す之れ本品が他のあらゆる消化劑に比して超越せる所以＝內務省東京衛生試驗所の報告も亦之を證明せる眞に世界的の大發見なり
胃腸障害の爲に常にヂヤスターゼ其他の消化劑を服用せられつゝある人は速に本劑を試み其の偉効を知れ
粉末と錠劑の二種あり

定價		
粉末	二五〇瓦 一圓四十錢	一〇五瓦 六十五錢
錠劑	百錠 九十錢	卅錠 三十錢

東京京橋南傳馬町三丁目　星製藥株式會社　電話京橋一七八五　振替東京二〇五二二
▲各地藥店及特約店にあり

時計及蓄音器卸商　緊業創立明治二十八年
京城黃金町二丁目　喜多金光堂　電話一〇一五　振替京城七八二

優等清酒

發賣元　本莊酒店
黃金町百九十一番地（若草町四ツ角）
電話六五四番　振替京城五二〇番

和洋金物一式
地方御注文は特に便宜迅速御送付可致候
佐藤牛次郎商店　京城本町三丁目　電話二四〇

昔　今
大日本大阪高津
効能　逆上を引下げ便通をよくし梅毒其他諸毒を下す
効能で賣れる　七ふくひゑくすり
電南七一三九　振替大阪四七三
本家七ふくや伊藤長兵衛

內科　小兒科　中島醫院
京城府明治町二丁目（本町江戸川橋より入る）電話三七八番
入院隨意（普通病室 隔離病室）
院主　中島貞信

花匠 (七五)

松田竹の島人作

田淵が、會社の金を五百圓融通してくれたので、自分は苦しい其年の暮を漸く凌ぐことが能きた。ところが田淵が親切で、これ程のことを爲てくれたと思つてゐたら、田淵は自分を押し退けて、營業課長の椅子に座る心であつたらしい。だから自分が遣つて置いた五百圓の借用證書を、田淵は或る重役に見せて、頼まれて餘儀なく五百圓を融通したことを告げたらしい。すると其重役は融通の堅い人であつたし、自分の[illegible]の噂に聞いて知つてゐたから、會社の[illegible]に表する金を、會社の金を借りるといふのは以ての外、其他の社員に對しても、其儘に爲て置くことは能きないといふことで、其重役から、社長の市野へ耽ありく、市野は已むを得ず、所謂馬謖を斬るで遂に自分を免じて了つた。後で考へてみると、豫て其重役と田淵とは、黙然と腹が合せてあつて、自分を排除して、そして田淵を營業課長とすることに、談が出來てゐたらしかつた。自分は、田淵のかけた罠に、注文通りにかゝつたのであつた。自分は其事に氣が付くと、失敗つたと思つたが、最う其時は、氣の付き方が遲かつたから、何んにもならなかつた。面目なくツて、市野にも其他の重役にも、合せる顔がなかツたから、會社に顔出しせずに、其儘行方を晦まして、放浪生活をしてゐたのであると。

これが早見の飾らざる告白であつた。

京子は、早見の、會社を免せられたことの原因は、別に大減俸から詳しく聞いたのではなく、其當時噂があつたから、高見知らぬではなかつたけれど、それ程に入り組んだ事情があつて、田淵が陥れたのだとは、思つてゐなかつた。今早見の噺で、自分に對する田淵の遣り方と合せて、田淵は酷い男だと思つた。[illegible]田淵の手に陥れてゐること、[illegible]田淵が自分を陥れてみること[illegible]の網で、を、洩れなく語つた。早見は、これを聞くと、奸智に長けた田淵を、憎しむ心は、彌々強まつた。

「田淵は、實に酷い奴です。吾々の肉を陷ふ悪鬼です。私を陥れたのは營業課長の椅子に座らうといふまで、丁度其時私にそれだけのことをされる空隙があつたのですから、田淵を恨むよりも、自己を顧みて、其莫迦さ加減を悔いてゐたのですが今お噺を聞いて、悪人とも奸物とも譬へやうのない奴だと思ひます。それ程悪辣な男とは思つてゐなかつたもんですから、言ひなりに爲つて、二十圓貰つて來ましたが、飛んでもないことを爲て了ひました。」

「什麽でせう早見さん、其二十圓を御返しに爲つては……」

「でも今の私には、返すだけの金がありませんがねえ。尤も田淵から貰つた二十圓の中を參圓ばかり費消ひましたから、爰に十六圓殘らかは殘つて居ますが。」

「では其足りないところを妾が差上げますから、二十圓に纏めて、御返しに爲つた方が可いでせう。」

「併し御噺に由りますと、貴女も然う金は御持ちに爲つてゐらツしやらないやうですから、[illegible]出して戴くのは御氣の毒ですがねえ」

「たつて[illegible]困窮るまでも、田淵に返した方が、心持が可いぢやありませんか。」

「そりや然うですけれど……」

京城府明治町二ノ三二(元賞藥會社跡)
花柳病 皮膚病 須古醫院 電話二一〇二番

登錄商標 MARUKAN
宮内省御用達 最上清酢
品質及釀造高日本第一也
美味滋養に於て日本第一也
京城太平通二丁目
日本醬油株式會社京城出張所
電話二四五番

新刊紹介

▲婦人世界(八月號) 婦人雜誌中の白眉なるもの殊に編輯に拔け目なく奥さま方の好伴侶として特に家庭教師として申分なく手の届く編輯振りは感服の外なし(一部十七錢東京々橋南鍋屋町十一實業之日本社)
▲宗教(七月號) 一部五錢京都烏丸通七條上る大谷派本願寺内宗報發行所
▲日本印刷界(名古屋號) 印刷雜誌として歐米に出しても恥かしからざるもの(一部二十錢 日本町二其社)
▲日本魂(八月號) 日本魂社の機關雜誌にして趣味ある雜誌なり(一部二十錢東京京橋三十間堀三其社)
▲武俠世界(六ノ九) 本號は五箇の特別記事に名士の説を登載し(一部二十錢東京麹町武俠世界社)
▲戰友(八月號) 東京麴町飯田町在鄉軍人會本部
▲隨鷗集(一五三) 一部十錢東京本鄉區[illegible]
▲婦人週報(三ノ三〇) 一部五錢東京牛込[illegible]
▲大阪朝鮮貿易週報(一五二) 一部[illegible]大阪北區梅田[illegible]
◎御存知若の佃煮 東京日本橋區[illegible]の佃煮、海苔佃煮品柳屋商店の佃煮は普通の佃煮と異なり最も吟味を凝らして第一美味にして風味よく旅行に[illegible]

日報俳壇

夏の月 螢水
夏の月に滿目の草拂ふ居り 同
樹下に灯す瓜番や夏の月 同
二階手摺に見る諸ひ居る夏の月 同
城郭の樹立暗さや夏の月 同
ポプラ蟲を拂ひ居るや夏の月 同
灯を消して二階一ぱい夏の月 同
蚊帳に神輿を見る相撲な夏の月 同

失天

失天の東の出かりて柳の菊 由民
失天や酒器譏り居る馬の性 同

ハンモック

ハンモックに寝て居る稚兒や夕日影 小美蔵

夏日

朝顔の葉の淋しき夏日かな 紫水

涼し

帆車の音涼しさや磯の町 大雪

日盛

日盛を牛車軋らせ通りけり 隹舟

老鶯

城壁に老鶯鳴きて靜かな日 同

□永樂會吟草
(会題—文房具、雜)

□風の涼しさにペン走らせけり 靑葉
□硯洗ひ楽し静かな日向なり 水鈴
□塵筒さむれば雲が動かぬ空 同
□軽く浮べる雲を見て筆を留る 金楊子
□何か思ひてふと筆を止めて居し 柔酒舍
□塵の廓口が軽う机に光る 果品
□白き雲を見てあれば空は限りなし 夏畔
□金魚水がへてやる動かぬ雲なり 六步
□草々くれて渡る風のあり
□来なくて風さはあるなり 淵川
□誰なかんか思入る友なり
□ジャンクが結び居り外の夕やけ

◇關西女の騎馬登山

今年の富士登山者の數が多い事は甘い[illegible]の話に由かも其七分までが婦人の[illegible]で無いとの話に由かも其七分までが關西の美人であるいは宿屋の主人の談話である。關西から來る婦人の登山者は必ず馬へ乗ります。關東から來る人は大抵金剛杖にすがつて歩きます。これは全く不思議な現象で先頃から色々理由を調べて見た結果關西の婦人は多少馬に乗る經驗があると云ふ事が分かりました。一寸考へると關東武者の血を引いた婦人の方が馬には巧いやうだが却つて大宮人の血を受けた關西婦人の方に乗馬の心得がある とは甚だ面白いと云てゐる者がある

◇新渡戸博士と藝術

音樂家としては世に知られて居るが此頃跡見女學校の懇親會で婁女が某樂譜の演奏をした居合せた新渡戸博士がひどく同感して爾來頻りに四五の資業家を説いて此事業に出資せしめ日本音樂のために其成功を勵まして居る從來人材養成に有名な博士も斯の如き藝術保護は始めだと

家元宮國清氏は妻女杵屋彌七女史と協力して三味線樂譜の研究に熱心な

◇運轉手を警戒

鎌倉の別莊に避暑中の横濱の某富豪がこの程自動車を一臺買ひ入れたが、出掛ける時には態々横濱から呼び寄せ歸ると直横濱へ歸して仕舞ふ或る人が餘り不思議に思つて其理由を尋ねると、主人公頭を搔いて曰く「何しろ別莊の方には妙齡の娘が三人居りますので……」訊いた人スッカリ感心して仕舞ひ『成程今だに鍾子夫人が祟つて居るんですナ』

東京 夏と美容 其の二

浴衣の東京

見るからお粧の瀟洒した

レート粉おしろい

◎こうして粉刷きされて居ります

粹を尙ぶ東京では
お浴衣に配合よい
瀟洒したお化粧に

レート粉白粉が專ら用ゐられて居ります。全体レート粉白粉は、他の白粉と違つて分子が微細かく、附りがよい上、白さが自然で奥床しく、決して白さがクスミませんでゐますから、附けて非常に瀟洒と美しく、態とらしい處は少しもムいません。

其上眞實に涼しい
芳香は屹度誰方に
でも好かれるので

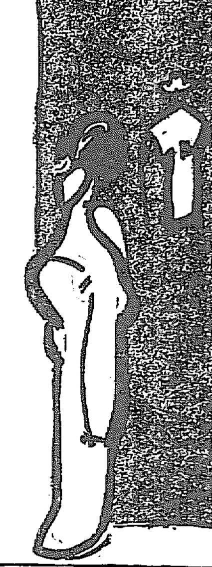
東京では、お浴衣には、たまらぬ程よく調和致します。だから、東京では專ら東京式お化粧としてレートが流行して居りますので、その使ひ方までが一般に一致して居ります。即ち軽いお化粧として、浴衣配合のよいやうに、先づお顔に

クレームレートを
引き一たん此れを
濡手拭で拭き取り

其上から、レート粉白粉を、牡丹刷毛で粉刷きされます。こうすると、至極お化粧が落付き、ホンノリと浮き出た白さが、自然で奥床しく、スッキリとした美くしさは、他所目にも心地よい程でムいます。そして何の手間もかゝらぬのでムいますから

これほどお手輕な
美くしいお化粧は
夏向きに打つて

附けた便利なお化粧法で、御旅行の途中でもお急ぎの外出の際にも、應用されて、汗一つかゝずに直ぐ出來上り、そして瀟洒と美くしく、其上涼しい白粉の薫りは、若さ知らずに清々として居られます。東京の流行は全國の流行でムいます。このクレームレートを下地に引いてレート粉白粉を刷くお化粧法が、今や一般に用ひられて來りました。



レート本舗 東京 平尾贊平

質 大口歡迎 京城黄金町長橋町入 電話二九一六番 田村質店 商品擔保便利取扱

最新刊
◎鐵道會計 佐藤雄能 二、五〇
◎最近支那經濟 米生永助 二、五〇
◎修辭法講話 佐々政一 二、〇〇
◎寬 岡本米藏 一、〇〇
◎新譯韓非子 野中元三郎 九〇
◎繪本稗史小説第一集 博文館編 三八
◎女子練膽法及護身術 小田總太郎 佐藤完實共 六五
◎開發三十六花選 田口杏村 一、〇〇
◎天然生活法 鶴田醫學博士 八五
◎安價生活法 同 八五
黒柳勳著 定價八五
◎なさぬ物語 島崎く里 岡田みなへし 一、〇〇
◎山國の昼 岡本綺堂 七五
◎道 高橋白虎子 八五
◎作文より小學敎話 森電 五〇
◎初等家庭實用料理 石井治子 一、五〇
◎五先定石新法 中川龜三郎 岩佐銈共 一、〇〇
◎囲碁敗此の一手 高橋靜致 六〇
◎新撰圍碁全集 鈴木爲次郎 一、三〇
◎中學師範女學校 入學準備者の爲め 日本研學協會編 算方の卷 三〇
ペン 手紙と葉書の書方
京城本町一丁目 電話六〇〇番 振替京城二五七三 大阪屋號書店

醴泉金泉間自動車發著時間
上り一番 二番 下り一番 二番
金泉發 前八、〇〇 後二、〇〇
開寧著 九、五〇 三、五〇
開寧發 一〇、〇〇 四、〇〇
成昌著 一一、〇〇 五、〇〇
成昌發 一一、一〇 五、一〇
醴泉著 後一、〇〇 七、〇〇
醴泉發 前八、〇〇 後二、〇〇
成昌著 九、五〇 三、五〇
成昌發 一〇、〇〇 四、〇〇
開寧著 一一、〇〇 五、〇〇
開寧發 一一、一〇 五、一〇
尙州著 後一、〇〇 七、〇〇

金泉織居自動車支部 小荷物運搬仕り候 金泉電話四八番

大邱浦項間自動車時間
大邱發 上り一番 二番 前八、〇〇 後一、〇〇 下り 浦項發 前八、〇〇 後一、〇〇
河陽 永川 安康 浦項
大塚農場自動車所 電話一一七番 大邱出張部

日本郵船仁川出帆
○大連行 太沽(天津)牛莊行
相模丸 八月六日正午出帆
撰津丸 八月十六日正午出帆
高砂丸 八月 日正午出帆
三河丸
仁川海岸町一丁目 電話十一番 堀回漕部

共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行
第廿共同丸 八月七日午後入港 八月九日前十時出帆
大阪、阿波行
阿波共同汽船株式會社
本町四丁目(電話一七三番) 野口商會
仁川代理店 春日町(電話二四七番) 田口回漕部
元山代理店
京城取次店 南大門(電話二六八・二〇一七) 河村運送店

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行
和歌浦丸 八月 日後五時出帆
立神丸 八月 日後四時出帆
○元山、清津、浦鹽行
和歌浦丸 八月 日後十時出帆
立神丸 八月 日後四時出帆
○第三琴平丸 元山、西湖、新浦、城津、清津行 日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行
第三琴平丸 日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
天興丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

大阪商船仁川出帆
神戸、大阪行 (外字詰)
天智丸 八月十七日
漳州丸 八月廿三日 後二時出帆
漳州丸 八月廿六日
信濃川丸 八月 日後二時出帆
門司、神戸、大阪行
木浦、釜山、鎭原、鄕の浦、長崎行
安東丸 八月十八日
安東丸 九月五日 後二時出帆
橫濱行
汕頭丸 八月十三日後二時出帆
福州丸 八月 日
南浦行
漳州丸 八月廿三日後二時出帆
鎭南浦、大連行
安東丸 八月十三日後二時出帆
安東丸 八月卅一日
南浦、神戸、大阪行
壺東丸 八月 日後二時出帆
西湖津新浦城津清津行(元山出帆)
宮島丸 八月十五日後十二時出
清津行(元山出帆)
安平丸 八月九日後十二時出
上海、芝罘、打狗行(大連出帆)
湖北丸 八月廿五日前五時出帆
基隆丸 八月十二日後四時出帆
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話一二二番二〇五八番
切符發賣所 內國通運會社京城支店 電話七〇八番
切符發賣所 仁川京城通り 開豊洋行 電話二二六番

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
君が代丸 八月七日 日後四時出帆
大有丸 八月十二日 日後四時出帆
秀吉丸 八月 日後四時出帆
▲神代丸 八月 日後四時出帆
仁川海岸通一丁目 電話五十九番 高杉回漕部

朝鮮郵船出帆
本社 電話一九五二番二三三三番
○關門より釜山各地經由雄基行 但し×印あるは江原道寄港せず
×京畿丸 八月十四日
×忠淸丸 八月十九日
成鏡丸 八月九日
平壤丸 八月廿四日 釜山發
○元山より各地經由雄基行
穩城丸 八月六日
鏡城丸 八月十一日
三浦丸 八月十三日 元山發
○浦潮行(元山より城津清津經由)
平安丸 八月十二日 元山發
○元山長箭間
鏡城丸 八月十八日
柳川丸 八月九日
穩城丸 八月十四日 元山發
○釜山元山間
慶寶丸 八月 日 釜山發
八月十五日 元山發
○鬱陵島行浦項及各地經由
盈德丸 八月八日 釜山發
○浦項行(長生浦方魚津甘浦九龍浦經由)
江陵丸 襄陽丸 毎日 釜山發
○濟州島行長承浦麗水巨文島經由
昌平丸 八月十二日 釜山發
○麗水行(各地經由)
統營丸 濟州丸 巨濟丸 毎日 釜山發
○木浦麗水間(麗水にて釜山行接續)
順天丸 南陽丸 三日目毎に木浦發
○木浦より濟州島行各島經由
西湖丸 八月九日
公州丸 八月七日
東興丸 慶興丸 木浦發
○多島海各島行
慶興丸 八月十二日 木浦發
○木浦行(群山其他各地經由)
晋州丸 八月七日
麗水丸 八月十一日 仁川發
○鎭南浦行(海州其他各地經由)
宗信丸 八月十日 仁川發
○海州行(江華島喬桐島經由)
全州丸 錦江丸 毎日 但し三十一日は休航 仁川發
鐵道院出張所代理店 各地外船舶京城支店南大門驛前 荷客取扱店 松原運送店 電話一一七〇番

●七月下旬氣象概況 本旬中には[illegible]前年は高氣壓小笠原方面を占め其[illegible]の驟雨あり[illegible]少とせしに僅に平年の二割に達せず殊に南部地方は前旬來引續き旱魃[illegible]十度以上を奏せり殊に大邱は[illegible]地方は二十三度[illegible]二十八度内外にして其[illegible]

●奉天市場株好況 [illegible]

●大邱[illegible] [illegible]示せるが之を昨年同期に比較すれば[illegible]